小供の齒痛に

今迄の一時抑え

齒痛鎭靜劑の恐ろしい慘害

母親がたはくれぐれも御注意ください!!

親として子供の病氣は自身が病むより辛いものですが、とりわけ齒痛が痛み出して苦しみ轉げ

泣き叫ぶ姿

を見るほど切ない事はありますまい。

そも〳〵大人に較べて子供が齒痛に襲はれ易いのは齒の素質（琺瑯質）がまだ完全になつて居ない所へ菓子やその他甘味の食物を多食し、しかも齒の掃除が行届かないので蟲齒が出來たり齒神經が露出して痛んだりする場合が多いからです。また消化不良や胃腸の障害から神經系統が刺戟や影響を蒙つて齒痛を訴へる事も子供には尠くありませんが、斯うした折

一刻も早く

痛みを止めてやりたい親心から與へる藥――（鎭痛劑の名で呼ばれる一時的な痛み止め）がどんな性質のものか御存じの方が幾人あるでせうか。

皆さんが風邪引きの熱さましに使ふアスピリン――あれを度々服むと胃腸を損ねる事は百も承知の筈です、そのアスピリンが實は鎭痛劑の正體なのであります。

アスピリン、アンチペブリンが頭痛や齒痛止めに重寶がられる點は藥效上

腦神經を麻痺

する作用がある點ですが、此の効果たるや、ほんの服んだ暫らくの間痛みを感じないだけに過ぎません。たゞそれだけの効きめに引き換え胃腸を惱らす副作用と來たら相當酷く、抵抗力の弱い子供などに斯んな藥を度々與へますと胃腸の内壁は腐つた魚のはらわたみたいにたゞれ榮養を害し成長を妨げるばかりでなく生涯に祟る重態な胃腸病を惹起したり頭を惡くしたり慘害はまことに恐ろしい限りです。

併し齒痛、頭痛を止めるには斯うしたアスピリン類劑よりほか求める事の出來なかつた今日までは、惡いと知りつゝも服ませるより方法の取りようもございませんでしたが、今度日獨醫化學研究所で胃腸に少しも害なく、逆に胃腸を丈夫にしながら齒痛、頭痛に好作用をもたらす「はれやか」といふ藥が發明されました

此の藥なら

安全で効目も優れ服めば服むほど回數を重ねるに隨つて腦や神經細胞を明朗快活に導く藥効がありますから單に痛みを消すばかりか頭をよく氣分を爽やかに致しますので、まことに好都合でありませう。

大人の頭痛・疲勞恢復にも　また好適

「はれやか」は獨逸の明腦藥へ胃腸強化の成分を保有させた最新の發明藥、研究著手から完成まで日獨醫化學研究所が多大の費用と長年月の苦心を費しただけあつて神經や腦の疲れ、胃腸の故障から來る頭痛齒痛その他あらゆる腦神經症狀への効力は極めて優秀ですが、殊に婦人の月經時の頭痛、ヒステリーを始め、眩暈、不眠症、腦充血（のぼせ）二日醉、船車暈などにはまことにお奬めしたい適藥でございます。

御注意までに申上げますが、今までの頭痛齒痛藥で前章に記しましたような恐ろしい副作用の危險あるアスピリン系統の藥でないものがない證據は皆さんが藥屋へお出になつてアスピリン類劑でない頭痛齒痛藥と仰言ればどこの店でも首を傾けることで判つて頂ける筈ですが、そんな藥でわかり切つた慘害を蒙るのは避けられ安心な「はれやか」で充分な治療目的を達するのが一番賢明だと思ひます。

×

因みに「はれやか」の藥價は三十錠、五十錠、一圓、二圓、三圓、五圓でどこの藥店にもあります。品切れの節又は直送希望者は定價に送料十錢加算の上東京銀座一ノ七日獨醫化學研究所へお申越次第送藥いたします。

試供藥　文献　無代進呈

健胃整腸の効を兼ねた新頭痛疲勞恢復劑「はれやか」が胃腸を害せず頭痛頭腦疲勞記憶力減退齒痛等に對する藥効があるかを實際にお試し願ふためハガキで左記へお申越次第試藥文献無代急送致します

東京銀座一ノ七　日獨醫化學研究所

資本金　一億圓全額拂込濟
積立金　一億二千四百二十五萬圓

横濱正金銀行新京支店

銀行代表電話　三、六一一　公用　二、三七〇
支配人舍宅　二、一一七　支配人代理　二、九六九
共同舍宅　二、六一二

本店　横濱

支店及出張所　東京、丸之内、名古屋、大阪、神戸、門司、長崎、倫敦、巴里、漢堡、伯林、紐育、桑港、羅府、シヤトル、布哇、リオデジヤネイロ、シドニー、アレキサンドリヤ、孟買、カルカツタ、蘭貢、新嘉坡、スラバヤ、バタビヤ、スマラン、馬尼拉、香港、廣東、上海、青島、漢口、天津、北平、營口、大連、奉天、哈爾賓

蟲下し マクニン

蛔虫は健康への秘訣!

マクニン錠　三十粒　七十五錢　一円廿五錢

34

月刊雜誌　文房具　事務用品　和洋紙

新京吉野町銀座街　**ミツワ書店**　電話二三三一番

國都醫院

診療科目　内科、小兒科　外科、産婦人科　花柳病科、肛門病科

入院隨意

新京永樂町三丁目　領事館前京都旅館隣　電話四六〇六番

●營業科目●

煖房衛生防水工事請負
便利瓦フエルトタイル
衛生陶器アスベスト類
左官材料一式

新京日本橋通五　電話長四七八四番

松澤支店　營島松支店

松本醫院

内科、小兒科　性病、痔疾科　アヘン、モヒ ヘロイン中毒

（入院隨意）（隨時往診應需）●代診生並に看護婦入用●

日本橋通郵便局前　電話三七五六番

満洲　**石炭一手販賣**

品質優良　價格低廉

一號中塊炭　一噸　一三、一〇
二號中塊炭　一噸　一三、一〇
德用家庭　一噸　一一、一〇

第一區配達付

新京長通路首都警察東一丁

三通組合貯炭場　組合事務所　電話下四八六番

新京看護婦會　野田乳療院

看護婦、家政婦、附添婦派遣多忙に附急募

新京大和通六十二　ムサシナ　電話六三四七番

高級果實　**カネリ洋行**

新京ダイヤ街　電話五九之二番

本店 大連市西広場

▶營業科目◀

新表上替　機械製造　敷床疊

兒玉疊商店

新京東二條通り 滿鐵醫院（西側）電話三三九〇番

おちついた御座敷　家族的で高尚な……食道樂

四十人樣迄の御宴會御相談に應じます……

割烹　**幸樂**

入船町二ノ一七　電話二六六一番

碎石　栗石　寒水石　煉瓦　赤黑砂　河運搬業

販賣　**東茂洋行**

富士町二丁目廿六番地　電話四九三二番

甘栗

栗羊羹　高級果實

小包便として甘栗を内地送りの取扱を致します

新京吉野町二丁目　**甘栗太郎**　電話二八八七番

責任を以つて推奬出來る!!　セメントと石灰の着色劑

絶體不變色　鑛物性顔料

「**岩城セメントカラー**」〔容器一封度、五封度鑵入〕

●カベ塗料カセインの特價提供●

カタログは御申込次第進呈

新京總代理店　**和成公司**

梅ケ枝町一丁目六　電話四七九〇番

氣安い　面白い　料亭　**千草**

長春座裏通　電二六〇七番

謝恩デー

大印（ダイジルシ）**景品付大賣出し**

當所開設三周年謝恩記念の爲十二月一日より大印最上醬油斗樽御買上げ一挺毎に洩なく景品進呈

大連醬油　**新京出張所**

新京吉野町三丁目八　電話二七二五番

ゴム印　印章

ハンヤ

新京吉野町一

十文古堂印房　電話3145番……

正月新譜發賣

蓄音器レコード專門店

東一條通　**日信洋行**　電二一六三番

▼取扱品目▲

各國産羅紗、軍服地、綿布
絹布、別珍、アルパカ、芯地
釦糸類、其他洋服附屬品

加藤洋行新京支店

新京日本橋通廿五　電話三七三一番

博愛産院

お産の時には

出入院隨意

主任産婆　宇野信代

新京朝日通一九　電話五九四七番

名物　**ふぐ料理**

忘年御宴會は特に御勉強いたします

是非活洲を御利用の程を

食道樂　**活洲**

吉野町二丁目　電話三一五六番

内科小兒科　花柳病科　耳鼻咽喉科

新京ダイヤ街老松町　**筈元醫院**

電話五六一六番

日立井戸ポンプ
日立モートル
日立換氣扇
日立製作所
在庫豊富
一手特約店
森商店
新京出張所
新京朝日通二五番地
電話(長)五三一二番
本店 奉天千代田通三七番地 電話長三一〇四番 六八〇〇番
チチハル出張所 チチハル景新街十三號 電話二七五七番
日立製品概目
發電機 電動機
廻轉變流機 水銀整流器
變壓器 周波數變換機
起重機 捲揚機
空氣壓縮機 送風機、扇風機
蒸汽罐 蒸氣タービン
蒸汽機關車 電氣機關車
內燃機關車 ディゼル機關
配電盤 電氣冷藏庫
ロードローラー 換氣扇
各種輸送機械 エレベーター
電弧鎔接機 絶緣塗料及油

忘年宴會
新年宴會は
御料理
竹迺家
梅枝町一丁目電三七三四番

難産の看板 きのふ揚がる

名も「關東局」で更始一新

難産だつた機構改革問題から生れた新機構の關東局官制は二十六日發令され即日實施されることゝなつた、軍司令部表玄關には「關東局」、軍司令部前の分廳舍には「關東局分館」の看板がかけられ愈よ關東局は名實共に出來上つた、關東局開廳式は二十六日午後五時から建築中の關東局分館事務室で

日下司政部長、岩佐警務部長、大村監理部長、大塚關東州廳長官を始め各部事務官列席の下に擧行された、席上日下司政部長開廳の挨拶があり終つて同氏の發聲で祝盃をあげ同六時終了した

新京行き 廿七日旅順發

〔旅順國通〕新京行に決定した文書、官房、經理の三課は新機構による新京行きのトップを切つて廿七日旅順發新京に赴くことになつた、尚新京行の部門の大體は明春一月四日の御用始めまでには關東局に出揃ふ樣準備を進めてゐる

南司令官國書捧呈

けふ午前十時勤民樓で擧行

南司令官

南全權大使は二十七日午前十時宮内府に參內、勤民樓に於て滿洲國皇帝に拜謁、國書捧呈を行ふ豫定である

尙午後二時同大將は關東軍々司令官の資格に於て參內拜謁皇帝にはその際種々の御歡談あらせられる模樣である、引續き同三時國務院に至り滿洲國要人と會見歸路駐滿海軍部を訪問津田司令官と會見、同四時半より官邸に於て在京記者團と初の會見を行ふ豫定である

席者は日鮮滿露各教會員約五百名に達しまづ聖書朗讀、祈禱があり司會者吉川牧師の挨拶あつて、日、鮮、滿、露各教會の唱歌、劇など通譯づきで行はれ盛大裡に同八時半プレゼントをうけて解散した

公金横領犯人 逮捕さる

既報の如く本籍吉林省德惠縣張家灣農安郷政局長石秀岩（二八）外二名はさる十九日農安郷政局公金二千四百圓を携帶逃走し農安警務局より手配中の處二十四日午後犯人の妻を取押へ取調べの結果犯人は城內西三道街四五號牛賣買商錢維賢（六九）方に潛伏し居るを自白したので車警長は犯人の妻を同行せしめ前記潛伏場所に踏込み犯人を逮捕せんとしたところ矢庭に逃走したの一〔尨〕が逮捕、犯人の費消殘金其の他合せて金一千二百圓を押收した

揮毫大會で 兒童猛練習

本社後援の西廣場小學校新年揮毫大會は來月六日で締切るので同校兒童は猛練習を開始してゐる

宮中新年典禮

宮中に於る康德二年の新年典禮及び國務院新年祝賀式は左の順序で擧行される

△宮中典禮

元旦拜賀式午前十時（在京文官簡任以上、在京武官少將以上）

二日賜宴正午（在京文官簡任以上、在京武官少將以上）

三日拜賀式、賜酒午前十時、第一班（在京文官薦任一等より四等迄、在京武官上校より上尉迄）午前十一時半第二班（在京文官薦任五等より八等迄、在京武官中尉より少尉迄）

菱刈將軍 離滿挨拶放送

〔大連國通〕凱旋の菱刈將軍は二十六日夕六時三十分大連に着來連、三十日迄滯在するので電々會社では將軍の都合を照會した上大連放送局より全滿に離滿挨拶を放送する計畫を樹て交涉の筈である

林滿鐵總裁 公會堂視察

來京中の林滿鐵總裁は二十六日午前十一時山崎、河本兩理事と共に新京記念公會堂に至り荒木地方事務所長の案內で大ホール、第二、三會議室その他一般施設を觀察した

日、鮮、滿、露 クリスマス きのふ盛大に 行はる

新京日本キリスト教會主催の日鮮滿露國際クリスマス祭典は二十六日午後六時半から中央通りの教會で開催されたが、列

滿洲體育界 一ヶ年の回顧（下）

大滿洲國体育聯盟理事　奧　勝久

聯盟への改組

建國 元年四月民族協和の大理想の下に建國記念第一回大運動會と同時に滿洲國体育協會なるものが創立せられ同年八月文敎部訓令第十號に依り全國運動競技團体の國家的統制機關となり、大同二年度に入り國庫金の補助が認められたのである、爾來二年有半幾多の體育事業に活躍し遂行して來たが更に滿洲國將來に鑑み協會の機構大强化を企圖し本年七月大滿洲帝國體育聯盟と改稱し新しく各種運動競技別十一種の協會を構成體とする有機的聯盟に陣容を新たにし從來より尙一層國民身心の鍛錬に重點を置き東亞永遠の平和をもたらす可き國家的事業に邁進してゐるのである

体育大會

國立南嶺綜合運動場開きを兼ね第三回滿洲國體育大會が三日間に亘り盛大に擧行された

陸上 競技に於ては殆んど全種目に亘り從來の記錄を破つてしまひ全く目覺しい躍進振りを見せ或る二、三の競技種目にあつては世界的選手と堂々戰ひ得るものがあり異狀な進展であつた、女子選手に於ても日本女子選手と戰ひ決して負を取らぬ者も相當有り陸上競技將來への赫々たる希望をもたらした、此處數年ならずして國際競技に出場し堂々戰ひ得るレベル迄になつた事は實に劃期的な年と云へる、日、滿、露、鮮、蒙の各民族が友愛のこもつた和氣靄々の內に競技を行ふ情景は恐らく世界何處の國に於ても見られぬ事と思ふ、其他蹴球に於ても、排球籃球等陸上競技の如く確實に記錄として表れないが昨年に比して全く隔世の感があつた國技とも云ふべき蹴球に付ては特に進歩の跡目覺しい日本と比較して稍ゝコンデイションに慣くならば實力は差がないと云つても

過言 ではないその團體的技術に於ても實に個人的技術に於ても實に立派なものであつた

奉迎運動會

本年六月スポーツの宮秩父宮殿下には御來滿に際し滿洲國に於ては全滿洲より優秀な日滿選手を選拔し奉迎マッチを御台覽に供し殿下には事の外御興味深く御覽遊ばされ各競技の御下問の餘りに專門的である事に一同恐縮致した次第で我々一同此の無上の光榮に感激した

滿洲國体育思想に付て

最後に大滿洲帝國体育思想に關し日系官吏の間に非常な誤つた見解を持つてゐる者が多々ある、此れは日本に於ける過去の誤られた体育思想が起因してゐるのである、日本に於て休育と云へば直ぐに學校に於ける無氣力無精神な体操或は新聞雜誌のマネキンスポーツを以て休育なりと速斷、盲斷してゐる傾向があつた此の如き休育は國家政策より見れば末の末で眞の体育及ひスポーツの立場より言へば

冒瀆 も甚だしいものである、英、米はスポーツ至上主義あり亦世界記錄はあるが一貫した國民體育の存在は見あたらない、日本は不幸にして過去に於ける英米のスポーツを直譯的に模倣したことに毒せられ、故に日本のスポーツ界に向つて最高のスポーツ精神とは何かと問へば英、米の直譯的なスポーツマンシップをいたつて明朗な顏をして輕々と口にするのである彼等の中にスポーツの最高理想は愛國殉國の精神だと答ふものが一體幾人居るだろうか滿洲國の行ふ體育は決して此の如き性質のものでは斷してあつてはならぬ、體育により心身を鍛練し之により國民の一致團結を堅め之により興國の意氣を發揚し之により鄕土の平和を樂しみ之により國家に對し忠誠の眞義を確認せしめる適切簡明を手段としての体育であらねばならぬのである、現在

發展 途上にある滿洲國家の第一義的政綱として處理さる可き性質のものである諸外國の体育思想及ひ体育行政の模倣は滿洲國に於ては斷じて許さない滿洲國は滿洲國獨自の立場より猛進すべきである（文責筆者）

組合加入資格者 優に二萬を突破す

先づ新京本部から營業を開始

廿六、七兩日に亘り新京に於ける各部局の會員申込が行はれるが、廿六日午後より發起人六十餘名の手許に受付を開始した、續いて地方の會員募集に移るが、中央、地方合して約二萬の日滿官吏と特別加入を認め得る數を合計すれば優に二萬を突破してゐるが其の幾割が加入するか注目される

輸入組合理事 久末吉次氏談

まだ具体的な對策はないが組合員は勿論在京一般商人のうける打擊は實に大きなものであるからなんとか方法を講じなければならないと思つてゐるまだ聯合會の方からもなんとも言つて來てゐないので纏つた意見を申しあげることは出來ないなほ新京商工會議所においても緊急議員會を開き對策を協議する模樣でこの問題は年頭早々重大化するものとみられてゐる

民間影響なし

國道局岩田事務官語る

滿洲國官吏消費組合開設は一般商人側に相當の反響を與へるものと見られるが、右に對し消費組合設立の發起人であり生みの親の一人である、國道局岩田事務官は左の如く語つた

一般商家に反對の聲が起る事も豫想してゐるが一方卸賣業者中には進んで消費組合を設立して貰ひ度いと屢々運動して來た實例もあり一槪に反對するとは思はれない、商家に對する影響については隨分熟考し凡有る方面より資料を集め實際に當つて研究してみて消費組合が出來ることにより決して商家壓迫とならないとの結論を得、設立計畫を進めた譯で消費組合の內容即ち販賣價格其他を充分理解して貰へれば惡影響のない事は判ると思ふ殊に消費組合と同價で販賣するも商家の利得は充分ある事だから組合は只趣旨の如く組合員の相互扶助精神から福祉を增進する事を間接的には不當利得防止、輸入助長、其他の經濟狀態の整調安定化の一助となる事に期待をかけてゐる次第です

道ならぬ戀をはかなみ 不倫の女瓦斯自殺

〔奉天國通〕市內八幡町六、國分商店方止宿埼玉縣生れ望月義雄內緣の妻宮下しま（二七）は二十五日午後二時より五時迄の間に二階にガス管を引込みガス管を口にくはへて覺悟の自殺を圖つた、石原因を聞くにしまはもと奉天某カフエーに女給として働いて居る內奉天驛勤務小野寺某と知り合ひ、望月と結婚後も小野寺を忘れ得ず、去る十一月には熱河まで逃避行をなして連戻されたが、其後も二人は夫の目を盜んで媾曳を續けて居たが偶々二十五日二時頃夫に戀文を發見されひどく叱責された爲め二人の戀をはかなんで遂に天國行きを決意したものらしく、しまは發見と同時に新井病院に擔ぎ込まれ手當を受けたが間もなく絕命した

ソ聯駐米大使 歸任

〔東京國通〕ソヴイエート聯邦からアメリカへ歸任の途中去る十四日來朝、各方面と舊交を溫めてゐた駐米大使トロヤノフスキー氏は廿五日夜横濱出帆のプレジデントクーリッヂ號でホノルル、經由米國へ向つた

八島小學は 八日に開校式

室町、西廣場から分離し 十日から授業開始

新京梅ヶ枝町三丁目普通學校隣に新築中だつた八島小學校もいよいよ來學期から開校の運びに至つた、室町、西廣場兩小學校では一月七日を以て分離轉校する事とし、兩校では同日午前九時三十分から夫々分離式を同日午前十一時から八島小學校において開校式を擧行し、八日から諸準備の爲め十日頃より授業開始の豫定である、因に地方事務所では分離轉校する關係兒童保護者に對しそれぞれ通知した

迎春の第一便 年賀狀の書方 ―友好上大切なこと―

年賀狀は出した方がいいとか廢した方がいいとか云ふ議論は、實につまらぬことで、と共にかく葉書一枚で平素無音失禮を謝する機會が得られると

彼我の

動靜、起居の模樣がわかるのであるから、迎年の第一日に於いて、年賀葉書の交換を行ふのは、決して意味のない事ではないと思ふ、だがいはゆる「謹賀新年、倂せて平素の疎遠を謝し尙將來の高誼を希る」式の年賀狀では、何の情趣もなければ感興もない、世間往々ある例だが「謹賀新年」に對して「恭賀新年」の鸚鵡返しは形式的

虛禮て

あつて、こんな年賀狀こそ廢すべきである、一月一日に出し遲れた時は一月何日と日を書いた方がよい、なほ日附は月と書いたら一日とか三日とかその日附を書き、元旦と書いたら一月は要らない、昭和何年元旦の如くに書く、次に年賀狀の言句を擧げよう

◇初春のお喜びを申上げます

◇謹賀新年

未來なし、まして過去をや我等いま初日の前にもろ手をあらはす

◇賀正

いつの年もいつの年も、無性者の生れとて御厄介になるばかりで、何辨おむくひする事も出來ず過ぎ行くことを誠に殘念に思つて居ります、倂しお蔭樣で今年も一家丈夫で新しい年を迎へ心下さい、そして此の上ともお見捨なく御交誼の程祈り上げます

私はやはり何々會社に勤めて居りますからどうぞ御安心下さい、そして此の上ともお見捨なく御交誼の程祈り上げます

年賀狀は右の諸例に揭げたやうに工夫して書くとおもしろいものが得られる、繪のかける人であつたら

自作の 繪葉書に自作の詩歌を添へるの

鮮滿國際橋 架設決定

〔京城國通〕鮮滿國道を繋ぐ國際橋架は朝鮮側で六ケ所架設に決定明年度は慶源、穩城（咸鏡北道）二ケ所に工事着手の豫定である、尙滿洲國側では左記八ケ所の架橋を決定明年度は咸北慶興と對岸黑頂子を結ぶ鐵橋を架設する事に內定した模樣である

滿洲國側架橋箇所

一、碧草洞（平北碧潼對岸）

一、外岔洞（同楚山對岸）

一、帽兒山（同中江鎭對岸）

一、長白（咸南惠山鎭對岸）

一、土城（同三水、長津對岸）

一、咸北茂山對岸

一、咸北會寧對岸

一、黑頂子（咸北慶興對岸）

も興が多い、之に反して書になると夜店などで木版で年賀辭を印刷した私製葉書を買つて居るが、あれらは何の味もない本當の形式的なもので用ひるべき品でない、近頃は年賀狀に家族の動靜、勤務先の模樣、現在地の近況を添書して輕することが流行り出したが、これはいいことだと思ふ

奉天總領事館 登記事務 本年は延期

〔奉天國通〕奉天總領事館に於ける諸登記事務は每年十二月廿四日締切となつてゐたが在奉一般商工業者の希望に依り本年は特に廿八日まで延長することとなつた

全滿氷上競技豫選 卅日西公園で

新京体育聯盟亞に滿鐵運動會新京支部では來る三十日午後一時から西公園リンクで全滿氷上競技豫選大會を開催することに決定、競技種目は五百米、千五百米、五千米、一萬米の各種で、參加者は來る二十九日正午迄に地方事務所社會係佐々木氏まで申込まれたいと

特産商殺害さる

〔奉天國通〕奉天藤波町一番地特產商藤豐三郎（五三）は特產買出しの爲彰武縣城に出張中二十六日午前五時頃旅宿に於て何者にか殺害されたが詳細判明せず、急報により奉天總領事館警察署員が現地に急行した

關東名物搗ぬき 福團子生る

市內梅ヶ枝町三ノ二八、三條橋を渡つたところに『十五屋』といふ福團子と稻荷すし專門の店が出來た、團子は關東名物の搗ぬきで、串にさし燒いて甘辛の味をつけた風味のよい出來開店早々から評判がよい、電話六八〇七番へ注文すれば配達する

訃報

▲田屋稔氏（平安町三丁目十一號ノ十二）四男了さん十八日出生

▲山田健一氏二十五日午前零時死亡

女人婆羅門

長田秀雄　西正世志畫

（四十三）

恩讐の彼岸（四）

山塞では、鹽、砂糖、日用品に至るまで、すつかり皆めつくし、使ひ盡してしまつてゐた。

「今度は、誰が買出しに行く番だ。雜用の品も、全部無くなつてゐるぜ」

渾目の矢坂が聲をかけた。

山小屋の、丸太を並べた縁先は暖かつた。ぽか／＼とした春の日に陽炎がもえて、胡蝶がひら／＼と、飛んでゐる。

寢そべつてゐた髭の松公が、

「親分——鹽の買役は、今度は、髙崎丹後の番だ」

あつち向いたまゝ云ふと、

「冥加を云へ、今度は、貫禄の番だ」

と、丹後は、すぐ反駁した。

丹後は、やはり、春日に、背を曝して、假睡中だつた。

「あつははは——何つちだつていゝぢやないか、仲好く、二人で行つてくれないと、一人では、持ち切れないぞ」

と、聖庵が、横合から口を出した。

「さうだ、聖庵の云ふ通り、二人一緒に行くんだ！」

「親分——それあ殺生だ。丹後一人でいゝ、俺は御免だ」

「俺の云ふ事を聞かねえのか」

「いや、聞かないことはないが、何しろ遠州路まで行かなくちや、鹽は無い」

「それぢや遠州路まで行つて、買出しをして來い」

「さうと知つたら、今朝方獵に出て行つた三人に、言附けたらよかつたんだ」

「四の五の云はず、さつさと行かねえか」

鋭い目が、ぎよろりと光つた。

松公はそれに、射すくめられてしまつて、ちよつと、舌打ちしながら、立上つて、

「丹後、立たねえか」

丹後は、何となく、出澁つた氣持になつて、

「今日でなくとも、いゝだらう」

「いや、今日のうち頼む」

「さうか、では……」

と、重石を除けるやうに、澁々立上つて、裏手の小屋に背負梯子を取りに行つた。

松公と、丹後は、暫らくすると、背負梯子を背負つて出て來て、

「親分行つてくるぜ」

と、歩き出した。

「用心して行け」

と、矢坂の聲が、追掛けた。

山塞の前の石段を降りかけると ぷつゝり、丹後の草鞋の紐が切斷れた。

「あつ！」

「ちえつ、ぶまな奴！ 早く草鞋を穿きかへて來いつ！」

松公が怒鳴り散らすと、丹後は無言の儘、山小屋へ引返し來た。

「どうした」

矢坂の聲だつた。

「草鞋の紐が、切斷てしまつて」

「ちえつ——縁起でもないの」

丹後が、草鞋をすつかり穿きかへて、

「今度は、いゝ草鞋だ……ちや親分……」

と、歩き出しながら、

（けふは一日、日向ぼつこをしてゐたいんだが……）

何となく行きたくない心を隨ましながら、向ふの方で立止まつてゐる松公の後を追つた。

「あいつらが行つてしまふと、淋しいのう」

滅多にないことを、矢坂から聞いて、

「でも、此頃は……」

と、聖庵は、奧の間の方のお藤を指きした。

矢坂は、どこか淋しく笑つた。

流感と肺炎

慢性のたんせき

寒さに向ひ、いろいろ準備もある中で、殊に大切なのは、肉體の保健でせう。取分け大切なのは咽喉を守ることです。その咽喉も冬になると毎年、たんせき ぜんそくの氣味のある人は殊に注意を怠つてはなりません。俗に持病などと云つたり、たん持ちとか、云つて平氣でゐるのは呼吸器疾患ですから、必ず根治せしむる必要があります。

流行感冒

常に健康の人でもこれから冬季に向ふと、風邪に冒され易く殊に流行性感冒は最も恐るべき傳播力があります。感冒のせきを捨てゝおくと、肺臓に刺戟を與へ、思はぬ重患に變症します。例へば肺炎、肋膜炎、肺結核等の原因となるものです。

冬多い肺炎

それ故、たんせきばかりは、決して油斷がなりません。殊に肺炎に變症した時は充分の治療が肝要です。先づ室内の空氣を清潔にし、空氣を乾燥させぬやうに湯氣を立て、室内の温度は華氏六十二度から六十八度を下らぬやうにする事です。

外出にマスク

肺炎は、前に述べた通り流感、ヂフテリヤ、痲疹、百日咳等を患つてその經過中に併發する氣管支カタルを粗略にした爲めの病氣ですから、たんせき、ぜんその氣味は、どのやうに輕くとも、速かに治してしまはなければなりません。此れを未然に防ぐには服藥療法よりありません。

龍角散の効能

痰咳症一切の服藥療法としては、いろいろありますが、先づ病原によく作用し、利目があり、副作用等もなく安全な治療藥として評判の龍角散の御服用並びに家庭救急藥として御常備をお勸め致します。

船名	出帆（前十時）
志あとる丸	一月一日
うらる丸	二日
ばいかる丸	四日
たこま丸	六日
うすりい丸	七日
はるびん丸	九日
扶桑丸	十一日
志あとる丸	十二日
うらる丸	十四日
ばいかる丸	十六日
たこま丸	十七日
うすりい丸	十九日
亞米利加丸	廿一日
扶桑丸	廿三日
志あとる丸	廿五日
うらる丸	廿六日
ばいかる丸	廿八日
たこま丸	三十日
うすりい丸	卅一日

新京日日新聞
夕刊
十二月二十七日
本紙定價 一部五錢 一ヶ月一圓
廣告料 普通一行一圓三十錢 特別同 二圓五十錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話三二二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 永越內之介

皇帝陛下出御

南駐滿全權大使 晴れの國書捧呈式

けふ勤民樓上にて初の謁見

嚴肅に行はせらる

南駐滿全權大使晴れの國書捧呈式は二十七日午前十時宮內府に於て皇帝陛下親臨、鄭國務總理大臣、謝外交部大臣、沈宮內府大臣侍立の下に嚴かに擧行された、これより先南

大使 は陸軍第一禮裝に容儀を正し谷守谷兩參事官、吉澤、松隅、佐藤、山本、林出、筒井、花輪、高瀬、吉田、井上、桝谷各書記官、郡司通譯官及び板垣、大島陸海大使館付武官等を隨へ官邸に待つ間しばし特使許掌禮處大禮官の出迎を受け午前九時三十分宮內府御差廻しの自動車に同乘、雪に淸められた朝日通り七馬路を經て宮內府へ參內、西便殿に少憩の後沈宮內府大臣の案內を受けて隨員を隨へ勤民樓上の式場へと進んだ、午前十時滿洲國皇帝陛下には陸軍御正裝にて張侍從武官長、工藤侍衛官等を扈從させ給ひ、玉座に出御あり南大使に初の

謁見 を賜り、同大使は隨員整列裡に御前に進み旨上書を朗讀（林出書記官御通譯）したる後恭々しく前大使御解任狀並に新大使御信任狀を捧呈、皇帝陛下には御答辭を朗讀し給ひ（宮內府譯官御通譯）嚴肅なる國書捧呈式を了へさせられ、陛下には同大使に御固き御握手を賜りたる後日本天皇 皇后、皇太后三陛下並に皇太子殿下の御近狀に關し御親しき御下問あらせられ、同大使謹んで御奉答申上げた次で南大使は隨員一同を陛下に御紹介申上げたるに、陛下には一々御溫き御握手を賜り御

機嫌 麗はしく御還御あらせられた、斯くて滯りなく式を了へた南大使は記念撮影の後隨員一同を引具同十時三十分官邸に歸還した

寫眞說明
（上）勤民樓に向はせられる皇帝陛下
（下）參內する南全權大使

各機關の調整と有機的活動

新機構實施について 岡田首相語る

【東京國通】對滿機構改革實施に關し岡田首相は談話の形式で左の如く發表した

對滿關係機關調整の懸案が解決せられ、殊に滿洲現下の事態に適合する新機關が中央に於ても現地に於いても共に打ちたてられた事は我國對滿國策の運用に一時機を劃するものとして誠に

欣快 に堪えない、滿洲國に對する我國の國是は同國創建以來今に變らぬのみか、我國は同國の盟友としてその獨立を尊重しその健全なる發達を衷心から願つて不斷の援助をつくし又日滿兩國が不可分な緊密關係を持して力をあはせ共存共榮の實を擧げんことを以て根本方針として來た、然して我が關東州及び南滿洲鐵道附屬地の地域は滿洲國と政治經濟文化等あらゆる方面に於いて密接な關係を持つのみならず歷史的にも深い因緣が結ばれて居るところであるからその地の施政は滿洲國と最も緊密な

關係 がある、從つてこの地方の施政諸機關と滿洲國駐在の帝國諸機關とが互ひによく相連繫して有機的に活動する事は我對滿國策遂行の上に重大なる意義をなすものである、それ故に關東軍司令官駐滿全權大使、關東長官は同一人を以て當てらるゝ制をとり、以て當時の必要に應じたのであつたが、自今滿洲國の進步著しく諸制の整頓と產業經濟の發展に伴ひ此制度に更に一步を進める各種機關の組織にまで立入つて之を綜合的に調整し、その有機的連關の機能を增大すると共に政府中央部に於ても

對滿 國策遂行の據點となる機關を設けて各廳對滿行政事務の統一保持を圖り國策の綜合統一的實施を充分にする必要が痛感されるに至つた、そこで今夏以來各方面の關係者が議を練り想を擬して考究を遂げ玆に新機構の創設となつた次第である、その過程に於ては多少の經緯はあつたけれども今こゝに目出度く新機關が輝かしい使命の第一步を踏み出すに對しては私は關係當路者が悉く新鮮開豁の心意氣を以て協力一致し、以て對滿事務局及び關東局の新しい機關がその有機的に組織せられた機能を充分に發揮して將來の我對滿

國策 實施に一段の效果を齎らし日滿兩國民の幸福、繁榮等に貢獻し延いて東洋平和の確立に寄與せんことを衷心より望んでやまない次第である

いよく實現の國策審議會

けふ納めの閣議で說明

【東京國通】政府は二十七日午前十時より納めの閣議を開き年內に行ふべき政務を決定した後、愈々國策審議會に關し吉田書記官長より大綱を示しこれを決定し今期議會にこれが所要經費を追加豫算として提出協贊を經た上議會後設置の方針である

日蘭會商は今後もつゞく

歸朝を前に 長岡代表語る

【東京國通】外務省着電によれば長岡代表は廿四日バタビア在留日本人會に於て會商經過と今後の方針に關し左の如き說明を與へた

バタビア會商は七ヶ月の長きに亘つたが此間日蘭兩國代表が忌憚なく協議を重ね意見交換の結果、双方の見解が疎通する事が出來たのは本會商の賜である、協定に達するには相當の懸隔あるも藉するに時を以てすれば必ず協定は締せられると思ふ、基礎工事は大体完了したので今後は之に對して舖裝工事を必要とするわけである、然るにオランダ側の代表は本國に歸り文書の往復では徹底せぬので自分も日本に歸るのであるが之は會議の決裂ではなく自分の不在中は越田代表が日本代表部を主宰する事になつて居り、オランダ代表部も存立してゐるので今後引續き自由に會商が行はれてゆくのである

神戶海運會商 來年に持越し

十日頃から開催か

【神戶國通】ジャバチャイナ側の讓步に依り邦船側では愈々廿六日神戶にジャバ同盟會議を開催すべく一切の準備を進めて居た處廿五日朝ジャバチャイナ側より本國政府との打合せ未了の故を以て延期要望あつたこれに依り神戶海運會商は遂に來年に持越される事となつたが、ジャバチャイナの待つて居た蘭印政府よりの回訓が廿六日夕刻到着したので同社では廿七日中に邦船側に對し何等かの提案をなすのではないかと見られる、然し乍ら蘭印政府は神戶會商を日蘭會商の延長と見做す建前を依然堅持しプール問題に就てはジャバ同盟會議の問題として確信を以て臨み一般海運問題に就ては二月中旬頃別個に神戶海運會商を開催する樣ジャバチャイナ側に回訓を發したものゝ如くである、尙邦船側としては二十七日にジャバチャイナより會議開始の提案あるも應ぜず、一月十日頃より開催すべく一切の準備を進めてゐる

會議申込み拒否

【神戶國通】日蘭海運問題に關し邦船側ではジャバチャイナ會社に對し二十六日に同盟會議を開きたき旨通達したがジャバチャイナ側はこれに對し準備の都合上二十六日の會議には出席し難しと回答し來つた、邦船側では協議の結果開催についてはジャバチャイナの出席通知を待つことに決定したが今の情勢では年內に開催困難と見られて居る

切角の連繫工作 遂に一頓挫を來す

政民の感情高速度に惡化

今議會の動向注目

【東京國通】非常時局の重壓の下に久しく雌伏中の各政黨を復活更生せしむべく昨年來愼重に計畫され臨時議會に於て略々完成を見た政民連繫運動は臨時議會終了後僅かに半ヶ月にして今回早くも一脈の暗雲に閉されるに至つた、卽ち連繫運動は第六十六臨時

議會 の最終段階に於て政友會側の投ぜる所謂爆彈動議が政友會一部の專斷によつて行はれたるものとして之を楔機として相當影を薄くした感があつた、而も尙今期議會に於ては政民兩黨共心機一轉し政黨更生の大なる目標に向つて邁進するため連繫運動を更新繼續すべしとの意見兩黨內に有力に行はれて居たが、先づ今期議會劈頭に行はれた衆議院議員選擧に當つては政民何れも獨自の候補者を樹てゝ相爭ひ民政黨側の政友會に對する合流工作は完全に失敗し兩派の感情は

高速 度に惡化するに至つた、斯くて一時有望となつた委員長折半も遂に沙汰止みとなり政友會は前議會に於て民政黨に對し讓つた全院決算建議の三委員長の椅子を今回は全部獨占することとなり二十七日の選擧に臨んで自黨候補を擁立することとなつた、よつて折角芽生へかけた政民連繫工作は玆に一頓挫を來した譯である

各委員長の割振り纏らず

獨自の候補を出す

【東京國通】全院委員長と常任委員長の割振りは廿六日午後連繫委員と兩黨幹事長が折衝するところあつたが、遂に纏らず夫々獨自の候補者を出すべく政友會は左の通り顏觸れを決定した

全院委員長　田口文次
豫算委員長　砂田重政
決算委員長　寺田市正
請願委員長　山本愼平
建議委員長　丹下茂十郎
懲罰委員長　牧野賤男
政務調査會長　山崎猛
同　副會長　宮澤裕
　　　　　　西岡竹次郎
　　　　　　[illegible]山憲三

右顏觸れは廿七日午前九時よりの院內外總務と幹部會の聯合會で最後決定し、それまでに民政黨が前議會通りの割振りを希望し來れば全院委員長と決算、建議兩委員長は民政に與へる意向である

けふの貴衆兩院

【東京國通】廿七日の貴族院は午前十時より本會議を開き近衞議長は開院式の勅語奉答文案朗讀後滿場一致可決、全院委員長選擧後暫時休憩、常任委員長互選後再開、互選の結果を報告して散會、衆議院は午前十時本會議開會、全院委員長選擧、常任委員長互選の後議長より勅語奉答文捧呈の旨報告後散會、之を以て廿八日より一月二十一日まで休會する

松本編輯局長歸省

本社編輯局長松本勇氏は歸鄕（北海道釧路）のため二十七日午前七時新京發離京した、なほ歸途東京、熊本、京城に立寄り一月十四、五日ころ歸京の豫定

人事往來

▲メーエルヴエルニエル氏（駐奉獨國領事）二十六日午後三時着ハルビンから同四時發奉天へ
▲青木重臣氏（關東局高等警察課長）二十六日午後四時三十分着旅順から
▲河本大作氏（滿鐵理事）二十三日午後八時發大連へ
▲大場鑑次郎氏（關東州廳長官）同上
▲富田少佐（安東憲兵分隊長）二十六日午後十時發奉天へ
▲ローバーワード氏（駐天津米國副領事）二十七日午前六時四十分着天津から同九時二十分發ハルビンへ
▲筑紫熊七氏（滿洲國參議）二十七日午前八時五十分着內地から
▲宮崎德安氏（關東局刑務所長）二十七日午前十時發旅順へ
▲オスヲルコフ氏（露國技師）二十六日午後三時着ハルビンから大和ホテル投宿
▲伊澤道雄氏（鐵路總局次長）二十七日午前六時四十分着奉天から大和ホテル投宿
▲大槻喬氏（敎授）同上
▲イーペン氏（ドイツ國技師）二十七日午前七時十分着奉天から大和ホテル投宿
▲三溝又三氏（滿鐵鐵路課長）二十七日午前十時發大連へ
▲儀俄大佐（山海關特務機關長）二十六日午後五時着大連から名古屋ホテル投宿
▲田中少將（旅順要港司令官）二十六日午前八時[illegible]

限りある人生 21

茶話會（三）　夏川靜江作

「いや。あんなのぢやありませんよ。今度のは全然違ふものです」

と云つて、佐々木は、ちよつと本賣場の方へ眼をやつて、友喜夫人に、それとなく嘉世子を示したのだつた。しかしそこのスタンドに、嘉世子の姿はなかつた。

「おや？」

と、佐々木は、一寸、拍子ぬけのした顏で

「彼處にゐる筈なんだが、何處へ行つたらう？」

と、そこらを探すやうに、見まはしたのだつた。友喜夫人は不審な眼つきで、

「何ですの？ 佐々木さん、急にお話しの腰を折つてしまつて

[illegible]

「いえ、僕の結婚しやうと思ふ相手は、あのブック・スタンドに働いてゐる娘さんなんです。こゝに泊つてゐるジエームといふイギリス人の紹介で、最近會つたのですが、僕の趣味とぴつたりしてますから、是非、結婚したいと思つてゐるです。」

「まあ！」

と、友喜夫人は、呆れたやうな顏をした。

本賣場の嘉世子は、ちよつと前に客から注文された本を探すために、地下室の書庫へ行つてゐないのだつた。

佐々木と、友喜夫人の話しはなほつゞけられてゐた。

「佐々木さんの物好きにも困りますわネ。職業婦人なんていつたい、どんな種類のものだか、何をしてきたものだか、分つたものぢやありませんわ」

「さう云ふことを仰有るのは、[illegible]

「いゝ加減にして頂戴よ」

「いや、あてこすりぢやありませんよ。ですから、貴女は、初めから別だと……」

「えゝ、えゝ、どうせあたしなんか別よ。そりやア、貴下方から見られたら、まるで、女の齢になんか入りやアしないんですから……」

「さう、無闇に誤解なさつては困りますよ。とにかく、後ほど紹介しますから一度會つてみて下さい、あすこの賣店にゐる娘さんです……僕ア、どうしてもあの人をミス、ジヤパンとして外國へつれて行くつもりなんです」

「まあ、大變な御熱心ですわネ。ぢや、あたし、雜誌か何か買つて、それとなく拜見して見ようかしら？」

「えゝ、さうして下さい。僕の選擇眼が、決して誤つてゐない[illegible]ですから」

明朗の蔭に涙——その日の菱刈將軍
皇帝陛下に最後のお別れ
老の身に先立つものは涙なり　けふの別れの名殘りほしさに

關東軍司令官がその手腕を發揮してやられる事と思ふ永い間色々在滿官民各位から御厚情に預り感謝に堪えない

新軍事參議官菱刈將軍は三位一体制度下の最後の長官として在職一ケ年半、赫々たる武勳と更に滿洲帝國建設に偉大な功績を殘し二十六日午前十時在京官民の破るる樣な歡送裡に故國に向け輝やかしい凱旋の途に就いた

□

もんぺ姿に諧謔常に明朗將軍として慈父の如く部下から慕はれて居た菱刈將軍離滿の前日二十五日滿洲國皇帝に御別れの御挨拶言上のため宮內府に伺候常日頃御信頼深かりし御事とてその日の御賜餐には通譯に林出書記官を交へるのみの至極和やかな內和な御賜餐だつたと洩れ承はる

□

皇帝と御差向ひの菱刈老將軍軍司令官兼大使、關東長官のいかめしい肩書を脫ぎ捨てた今滿洲國の若き元首皇帝陛下との最後の惜別の御宴として老將軍の感慨殊に深く林出行走を通じての御別れの御挨拶は武人の眼に露宿つたと云はれてゐる

□

席上惜別の感極まつた老將軍は傍の筆硯をとつて

老の身に先立つものは淚なりけふの別れの名殘りほしさに

の卅一文字に其情の溢れ出る感慨を林出行走を通じ皇帝に言上申し上げると皇帝陛下に於かせられても老將軍の感傷に惜別の御情更に深くあらせられ、來春再會の御言葉を賜り、老將軍の勞を犒はれたと洩れ承る、新興滿洲國の若き元首と友邦日本の使菱刈老將軍との惜別御宴は時餘に亘るも果てやらず、一時過ぎ一年有餘明朗を以て終始した老將軍も今日だけは感慨に足重く興運門を辭した

□

また過ぐる二十四日國務總理主催の惜別晩餐會席上

逢ふときは語りつくすと思へども　別るゝ時に殘る言の葉

の古歌をひいて犇々せまる惜別の情を吐露し滿洲國の老臣鄭首相との感激のシーンを現出一面に限りなき明朗老將軍の人間性を最後の土產に故國への輝やかしき凱旋の途に上つたのだ

菱刈凱旋將軍　昨夕大連に着

【大連國通】凱旋の途にある軍事參議官菱刈大將は岡村少將、今岡少佐、鶴見書記官と共に滿洲國皇帝御差遣の石丸侍從武官及び張軍政部大臣、袁參議、筑紫參議、曹奉天實業廳長、三毛奉天守備隊司令官等に同車にて見送られ、廿六日午後六時卅分新京より大連着のアジアで來連したが驛頭には旅大有力者、在鄉軍人、學校生徒多數此晴の凱旋將軍を國旗を打振りつゝ出迎へた、菱刈大將は之等歡迎者の熱誠な歡迎に鄭重なる答禮を返へしつゝ同四十分自動車にて星ケ浦の星の家に向つたが、來る卅日午前十時出帆の扶桑丸で離連の豫定である、より先車中出迎への記者に次の如く語つた

言ひ度い事は最早新京で言ひ盡したが滿洲の統制經濟も日滿間のブロツク經濟も大休に於てうまく行つてゐる樣に思ふ、後の事は南

滿鐵改組はうまくゆかう
凱旋途上　岡村少將語る

【大連國通】菱刈大將と共に凱旋の途にある參謀本部附岡村少將は瓦房店途車中出迎への記者に對し左の如く語る

滿鐵改組問題は旣に我々の手を離れて中央の議に移つて居り、現地に於ては軍と滿鐵の精神的連繫は出來て居るのだからうまく解決するだらう、日滿ブロツク經濟は未だ遺憾の點があるから大いに改善し兩國經濟發展に資したいと思ふ、今滿洲を去るに臨んで感慨無量のものあるが然し何のわだかまりなく離滿の出來るのはうれしい

哈市中學校設立　明春四月開校

【ハルビン國通】在哈日本人間に要望せられて居た中學校設立問題に關し居留民會では最後的態度決定のため二十四日評議員會を開いて協議した結果正式に設立に方針を決定即時五名の民會側設立準備委員を擧げ總領事館、滿鐵その他各機關の關係者を以て中學校設立準備委員會を組織し明年一月中旬頃第一回顏合せを行ふ事になつた、尙開校期は明年新學期の四月を選んで二學級を設け約九十名の生徒を收容することに略々決定して居る

內地歸り客で〃ひかり〃大繁昌　車輛增結手配願ひ

【奉天國通】第二列車ひかり號は開通直後の利用者は大したこともなかつたが最近著しく旅客が增加し安東通過二十五日の如きは二等五十一名、三等二百一名で座席がなくて立つてゐるものが安東驛で二等[illegible]名、三等三十九名といつた調子で、これ等旅客は殆ど內地歸省の官吏、會社員などである安東驛では結局三等客車一輛を增結して緩和をはかつてゐるか、二等車は寢台使用後は到底收容しきれぬ程で安東から向ふ二等車增結手配願が新京鐵道事務所に來た

關釜連絡船　年末臨時運航

年末年始の臨時休業を利用して內地へ歸省する官吏、會社員その他一般旅客は最近著しく增加して來たので關釜航路では定期船の外に關釜連絡臨時便として左の通り一日一往復運航する

△二十四、六、八、三十日（新羅丸）下關午後十時十分發、釜山翌日午前九時着 釜山午後十一時五十分發、下關翌日午前十時十分着

△二十五、七、九、三十一日（昌慶丸）下關午後十時十分發、釜山翌日午前八時十分着、釜山午後十一時四十分發下關翌日午前八時四十分着

西來好部下內紛起る

【吉林國通】拉賓線南部密林匪賊の大頭目西來好は既報の如く過般匪賊の頭目、相應しからぬ非業の最後を遂げたが西來好華かなりし頃部下の龍虎と謳はれた三勝及長勝の間に頭目の死後勢力爭ひ起り西千子溝一帶で血の雨を降してゐたが、兩雄並び立たず遂に數日前三勝の敗北となり首級をあげらるるに至つたので、その部下は四分五裂密林を棄てて拉賓沿線へ逃げ込んだので各車站では大恐慌を來し警務官憲は血眼で檢索中

ソ聯側盜引の北鐵貨車機關車

【ハルビン國通】北鐵ソ聯側は北鐵所屬の多數の優秀な機關車及び貨車を自國に盜引して知らぬ顏の半兵衛をきめ込んでゐたが去る一九三一年モスクワに於ける露支交涉の際莫德惠一行が乘込んでモスクワに向つた北鐵のサロン、ワゴン車輛が今日に至るもモスクワにストツプしてゐる外ハバロフスクに二車輛、チタに一車輛、抑留されて居り北鐵では展望車に缺乏を來してゐる狀態である

濱江省公署科廳長會議

【ハルビン國通】濱江省公署では二十七日午後一時より省公署科長會議を、二十八日は同廳長會議を開き各般の問題につき協議する事となつた目下新京に滯在中の呂省長は國都新京に於て越年一月四日頃歸哈の上、廳長及び科長の全體會議を開き當面の問題に就き具体的に協議し省政の刷新所信の遂行に邁進する筈である

暮の商店街に
突如揚る反對の烽火
滿洲國官吏消費組合　形勢重大化せん

暮の商店街に一石を投じた滿洲國官吏消費組合の設立問題はこの發表があまりに不意打ちであつただけにその波紋も以外に大きく各商人は今更ながら困惑の態である、新京輸入組合では最も急を要するものとして廿七日午後組合に緊急役員會を開いて對策を協議しその結果によつて新京商工會議所に對し共同步調のもとに反對運動方されるやう陳情することゝなつてゐる、一方商工會議所では輸入組合の陳情をまつて直ちに緊急役員會を開き輸入組合と相呼應して積極的反對運動をおこすことゝなつてゐるが消費組合の問題は一人滿洲國官吏組合のみならず昨今各種の機關において設立の氣運が伺はれてゐるやさきとて全滿の商工業者は大いに神經を尖らせてをり日本內地の反產運動以上に重大化するものとみられてゐる、なほ新京輸入組合並に商工會議所は役員會において具体方法決定次第來年を待たず年內に反對運動をおこすことゝなつてゐる

[illegible]ゲーリング氏等と種々審議を進めてゐると噂され之は此前手をつけられなかつた三百萬の茶色シヤツ隊（エス、アー）を全部解消して將來親衛隊（エス、エス）を限度とする大がかりの計畫で之を機會に反ヒトラー分子を徹底的に一掃する意向とみられナチス黨內に於ても極めて動搖し初めてゐる

日滿英語大會

【大連國通】マンチユリヤデーリーニユース社主催、全滿日滿男女學生英語雄辯大會男子部雄辯大會は二十六日午後六時より大連數島廣場基督教青年會で開催、全滿中等學校より選ばれた生徒諸君が交々立つて雄辯を振つた

冬期治維協議會

【ハルビン國通】濱江省巴彥、呼蘭、綏化等の北區八縣は曩に綏化に治安維持會を組織してゐたが、去る二十四日冬期の治安維持につき協議會を開き對策を考究する處あつた、尙右會議に參加せる金井濱江省總務廳長は二十六日綏化より歸來した

年末のごさくさに危險極まる食料品
罐詰を筆頭にあるく　新京署今更驚く

正月を控へ各商店ではどつさり仕入れてゐた飲食物品をこの時とばかりに賣捌く用意をとゝのへてゐるが新京署衛生係ではこれらの運搬される在庫品中に衛生上危害あるものを認めたので去る二十二日から係員總動員で二十五日まで五十八軒の商店に對し一齊に物品檢查を行つたところ廢棄處分に附されたものが九十五點でその點數は罐詰の四百點を筆頭にビール日本酒食器等七百點に達したので當局者も驚いてゐる

北鐵各沿線に小匪出沒

【ハルビン國通】去る廿四日北鐵南部線三岔河驛を去る約五里の地點に匪賊數名現はれたが滿洲國軍に逮捕され嚴重取調べを受けて居る、又西部線砂爾圖驛の西北方一滿里の地點にも去る廿四日約四十名喇嘛甸子北方八里の地點に騎馬匪賊三十數名現はれ滿人一名を人質として拉致した、急報により討伐隊出動追擊中である

特別大演習　南九州で行ふ

【東京國通】昭和十年度陸軍特別大演習は南九州地方に於て行ふことになつた旨陸軍省より發表された

吉林難民救濟所　收容人員激減

【吉林國通】地方治安のバロメーターたる當地の難民收容所は一時難民數百名に上り悲しい繁昌振りを呈してゐたが最近俄かに激減、收容者僅かに數十名に過ぎず結氷期に入つて鎭靜に歸する地方治安を如實に反映してゐると注目されて居る

北鐵交涉會見

【東京國通】北鐵讓渡交涉ソ聯委員カズロフスキー氏は廿六日午後外務省に東郷歐亞局長を訪ひ、讓渡支拂保證物價決定問題に就き意見交換、双方自國の主張を開陳協議したが、カズロフスキー氏は廿七日ソ聯側の具体回答を齎す事になつたので、此回答如何によつて交涉の進展左右さるるもの

營口外交部　辦事處長決定

【營口國通】久しく缺員中であつた駐營口外交部辦事處長後任は愈々現山海關辦事處長壽榮海氏に決定、發令と同時に近日中に着任の筈である

二十九日中に通告文を手交
外相、大使へ訓電

【東京國通】廢棄通告のハル米國務長官に手交の日取りは二十四日の三國非公式ゴルフ會談で豫備會商の大体の見透しがついた爲め廣田外相は二十六日齋藤大使へ訓電し二十九日中に通告すべしと指示した、仍つて齋藤大使は二十二日本國政府の電送せる廢棄通告文の手交を二十九日行ふ豫定で外務當局談の形式で

一、ロンドンの豫備會商は一時休會で明春適當の機會に續行の豫定だ

一、廢棄通告は條約に基く當然の權利で帝國としては軍備競爭を廢し平和を齎す新條約締結を衷心希望しこのためにはあらゆる努力を惜しまぬ旨を中外に聲明することとなつた、尙當局談は在外使臣へ電送し各國民に條約侵犯、軍備擴張の印象を與へぬやう努力せしめる

消防出初式　七日午前十時から

新京消防隊では來る一月七日午前十時より恒例による消防出初式を左記に依り擧行する

一、人員服裝機械器具點檢
二、監督官署長の訓示
三、監督の笑辭
四、新京神社參拜
五、市中一巡
六、小宴（於消防隊）

山本代表　英軍令部長訪問

【ロンドン廿六日發國通】山本代表は廿五日午前十一時チヤツトフイールド軍令部長を自宅に訪ね休會後の初會談をなした、會談の內容は平等權要求を承認すれば建艦計畫公表可能なる旨を述べた模樣である

河北省政府保定に移管　明春早々實現か

【奉天國通】支那側では天津にある河北省政府を保定に移管すべく數年來種々研究中であるが、當地への情報に依ると南京政府は去る廿二日軍事委員會北平分會委員長何應欽氏を保定に派遣し、實地視察を爲さしめ、一方右に關し華北各機關首腦者間に於ても時局收拾協議會が開催された事實もあり、之等の點から見れば河北省政府の保定移管も或は明春早々實現するのではないかと見られるに至つた

ナチス第二次清黨

獨逸ヒトラー首相は本年六月レーム、ハインツ等の突擊隊幹部連に對するクーデターを斷行しナチスの清黨を計つたが更に第二次の清黨を決意し

罹災民救濟に哈市で演劇會

【ハルビン國通】ハルビン市公署及び社會事業團体は本年十月の水害の結果苦境のどん底に飢えて寒さに喘ぐ罹災民救濟の爲め、來る二十九日三十日の二日間に亘り窮民救濟の演劇を催す事となつた

總領事館の元旦拜賀式

昭和十年元旦の拜賀式は午前十時から十一時迄の間、新京總領事館構內參事官々邸で擧行される

御用納め

新京總領事館は二十八日が御用納めで二十九日から來年一月三日まで休廳四日から事務を取扱ふ

記念公會堂第一回理事會

財團法人新京記念公會堂第一回理事會は二十八日午後二時から新京地方事務所長室で開催、同公會堂經營に關する件役員に關する件の協議が行はれるはず

シベリヤ商行賣出し

去月市內太子堂に於て出張大賣出しをなし好評を博した毛皮專門の店奉天シベリヤ商行では過般來東二條通り香丁屋隣りに支店を設け目下廉賣中であるが流石大資本の商店とて高級品から逆產品特價品等豐富にて正札より三割四割引とあり頗る盛況である尙賣出しは卅日迄である

けふの鈔相場

國幣對金票	一〇七、七〇
金票對鈔票	一一六、四〇
鈔票對國幣	九二、四〇
現大洋對鈔票	一〇九、三〇

本日の最低氣溫

零下廿一度六

新版 江戸八景

（第十景上）

行友李風氏外四氏合作　畫・鍛平他二氏合

一六〇　江戸相撲と辰巳藝妓　十三　鈴木彦次郎

江戸の華（三）

三味線の掛つた小綺麗な四疊半に、お万と龍之助とは火鉢を挾んで座つてゐた。

ぢいッと話を聞いてゐたお万は靜かに銚子を取上げた。石の樣に固く座つた龍之助は、默々として火鉢の角をみ詰てゐる。

『さあ、龍さんとやら――』

『へえ。酒はさう飲めねえでがす……。』

『大丈夫……。』

酌したついでに自分の盃にも注して

『よくね……、おつかさんも承知をなすつたね。あたしにアおつかさんはもうないし……おとつつあんはあつても音信不通……。何んでも常州にゐるつてこつてすよ。だから……、お前さんが常州のお人と聞くと、何んだか他人みた樣な氣がしなくなつて來ますのさ。』

お万の調子は沈んでゐた。

『それで……、いつ出て來なすつたの？……。』

『三日前で御座えます。』

『で、その日から毎日小野川の親方のところへ出掛ても逢へずにゐなさるのかえ？。』

『へえ、左樣で御座えます。取次ぎの關取が、大阪從つて江戸見物する心算だらうなんて、取りついで呉れましねえでがす。』

『オホヽヽ、隨分、方々から色々なことを云つてゆく者が多いんだから、それで、そんな斷りを云ふんでせう。お氣の毒ね――』

『あの……、では、弟子入りすることも駄目で御座りませうか』

一關の大將、龍之助は漸く出した『さあね、出し拔けに出て來なすツたんでは、なかなか面倒らしい事ですよ。手紙でも書いて貰ツてくると樂なんだけど――』

『ありますだ、名主様が、小野川親方に手紙を書いてくれましただ。』

『名主様？――すると、その名主は小野川の親方とは知合とか何とか……。』

『へえ、子供の時から友達だとかで、俺の手紙を持つてゆけば小野川様が、必ずうんと呑み込んで引き受けてくれるからと云ひますもんで――』

『へーえ、ぢア、その手紙はどうしたのさ。』

『持つてゐますだ……。』

『向かふへ出したの？。』

『いゝえ、出しましねえ？』

『えッ、な、何故さ？』

『大事な手紙だで、親方へ手渡して讀んで貰ふ節さな……。』

お万は、たうとう、吹き出してしまつた。

『ホツホヽ……、それア、手紙を先に出して、見せなきやあ……お前さん、いけないやねえ。』

『はあ、なるほど、さう云はれりアその筈だ。』

龍之助は、やッと、大きくうなづいた。彼は、折角の名主の添狀を懷中にしまひ込りつぶして、三日、無駄足を踏んだのだつた。

『あのね、お前さん……。』

お万は生々と眼を輝かした。

『小野川の親方にあたしも、しよつちうお座敷でお眼にかゝツてゐますから――どうでせう？わたしがその手紙を持つて、頼みに行つて上げようかしら。……あたしが行きあ、きツと通つておくんなさるのだから……。』

『お願へ申します。どうぞ、お願へ申します……。』

龍之助は膝をゆすツて、掌を合わせて――立て續けに頭を下げた。

居住消息

▲加悦宇八氏（長崎縣）大通から羽衣町三丁目二十二番地へ
▲須川周平氏（和歌山縣）大和通り六十六番地曙寮へ
▲守家完氏（福島縣）四平街から花園町三丁目九號ノ四へ
▲清水德茂氏永樂町から興安胡同六百十一號地ノ二へ
▲大山文夫氏住吉町から建和街二百六號地へ
▲小野光明氏白菊町から北安路市營住宅九十九號へ
▲辻田政治郎氏東三條通りから入船町一丁目九番地へ
▲近藤宇太夫氏三笠町から同上へ
▲井上經夫氏祝町から永昌胡同三百二號地へ

轉居

▲長嶺孝志氏盛濟寮から和泉町黑水寮三百三號へ
▲奧村善信氏梅ケ枝町から豐樂胡同三百一號地〇三へ
▲羽賀ヶ氏山吹町から曙町二丁目四番地ノ三へ
▲國分直衛氏千鳥町から營口へ
▲辻實氏中央通りから大和通り六十八番地へ
▲井原政二氏吉野町から和泉町三丁目黑水寮三百二十五號室へ
▲松見慶一郎氏祝町から興安胡同五百十七號へ

新刊紹介

東北滿之產業（創刊號）東北滿洲開發の唯一の指針である　本誌は其の編輯後記に示せる如くピチピチした新れば血の出る農村對策だ然も執筆者はいづれも斯界のエキスパートを網羅してゐる▲東北滿と東北人―（卷頭言）▲王道蕩々撫東太▲農村救濟を小農に徹底せよ千葉郁治▲農村振興は國の礎―山崎農林大臣▲滿洲國產業建設の歷史部大臣▲東北滿と東北地方の救濟―雨森清三郎▲東北滿の產業建設に朝鮮民族を―前田昇……等有益記事滿載（發行所東京市京橋區槇町二ノ五不二ビル東北產業公司調査局定價金三十錢）

滿蒙知識（十二月號）日滿融和　王道扶翼をスローガンとして起つ本誌は卷を逐ふに從つて內容充實　滿蒙を知る唯一の好資料として好評を博してゐる內容▲卷頭言▲論說▲資料▲滿蒙時事▲雜錄▲文藝▲滿蒙問答等（發行所東京市麴町區九段四丁目四番地滿蒙知識社定價金十五錢）

武道寶鑑成る

日本　道はこれを單なるスポーツと見るべきでなく、單なる護身術と心得べきでないその淵源とするところ流通發達の途次、すべて日本武士道と密接不可分の關係を持することから、われわれ日本國民の精神生活に甫大なる影響を齎らし、今や武道の修練は人間修養の捷徑、國民精神作興の本義とまで目せられるに至つた

○

この見地からすれば、日本人の武道研鑽は、人間修養の道程に一歩を踏入れたもので日本人であるかぎり武道を知り武道を語ることは絶對必要である、[illegible]試合はこの要求の前に、一大光明を點ずるものである殊に別冊武道寶鑑の有意義珍重すべき名著はあるまいと思はれる

○

劍道及び柔道の要訣、秘訣並に武道極意の全般に亘り今古の秘書門外不出の珍籍をこゝに集約したる編者の努力を多とするに足る、講談社發刊昭和天覽試合附武道寶鑑四圓八十錢

同情週間寄附者

地方事務所扱ひ

▲一〇〇久保欽也▲岡本シゲ子▲岡本捨圭▲西村好夫▲乙丸岩雄▲大瀨戸權次郎▲笠原九一▲枝國勇夫▲中山正子▲無名生▲向井清二▲山内眞壽男▲五つ國道局▲無名氏▲向井▲吉田充▲日野喜代松▲作本定▲寺本昇吾▲山崎晴生▲鳥貫武雄▲小野光明▲畨保卿▲志田一雄▲高宮壽雄▲武田貞次▲濱木佳年▲堀學明▲廣川畑光子▲増田▲寺田力吉▲井上增康▲鹽見涵子▲鹽見武乘▲富裕泉▲松谷久吉▲北門▲伴在昭治▲無名氏▲根古好人▲松永光太郎▲山本又吉▲藏間鐵太郎▲佃ワカ▲芝本辰次郎▲本田勝次▲牧野文庫▲松田ミヨ子▲二〇大野長太▲宰要次郎▲中川三郎▲保險會社▲佐藤榮▲荒木▲古木▲福島醫院▲小笠原浩▲福島榮三郎▲谷本▲寺澤▲盛田節▲一田中政雄▲木村勝次▲阿南海一▲舒増侯▲秀亭▲趙維宜▲玉川正雄▲高橋竹子▲潤博勳▲山田梅子▲傳宗謨▲増凱▲無名▲祖兆麟▲小野寺ミヨノ▲內岡外吉▲茅根清一▲白石キミ▲中井新▲坪井▲無名氏▲田所▲今江勇也▲織間▲長田泰次郎▲大堀新治▲塙川▲新田昌利▲林一二▲關谷祥次▲德田榮太郎▲穗刈松衛▲一〇內村一三▲小原シズ子▲嵩下才市▲濱木石子▲濱木梅子▲濱木又次郎▲濱木藤子▲濱木松之助▲前田政人▲松井無名氏▲野村虎太

十二月二十八日　舊十一月二十二日　金曜　癸酉　友引　收　虚宿

●一白の人　俄か仕立の畫策は差障を生ずるに至るべし　申と辛と寅が吉
●二黑の人　利福を生ずることあるも大望は控ゆるが吉　甲と丙と壬が吉
●三碧の人　他の辯口に引懸りて迷惑を生ずることあり　乙と申と辛が吉
●四綠の人　名利行はれ繁榮すべき日病厄盗難水害注意　甲と乙と申が吉
●五黃の人　長上の助言を容れて事に當らざれば敗あり　甲と壬と癸が吉
●六白の人　辛苦を積みて永く繁榮の基を開くべき吉日　乙と申と壬が吉
●七赤の人　多少の澁滯はあれども意に介せず進むが吉　甲と乙と壬が吉
●八白の人　氣運引立たず計畫失敗に屬す普請移轉大凶　申と壬と癸が吉
●九紫の人　人のため利を見る事あるも勢に乘れば後凶　己と申と癸が吉

輸入貨物の抜荷は熄まず
奉天商議對策要望

【奉天國通】內地その他より滿洲への輸入貨物が屢々中味を抜き取られ當業者の受ける打撃も相當大なるものあるに鑑み奉天商工會議所では本年二月滿鐵其他關係方面を招いて座談會を開催して對策を協議する處あつたが其後も依然として荷抜きが行はれ殊に最近は年末に當り輸入貨物の輻輳する關係上一層增加の傾向にあるため奉天商工會議所では之が被害狀況を詳細調査した上滿鐵其他關係當局に對し何等かの對策を要望する筈である

奉天省金融合作社 活躍は目覺し
貸付回收頗る良好

【奉天國通】奉天省金融合作社總署管下各金融合作社の活躍は目覺しいものがあり、十二月現在農耕資金貸附總額も百三十六萬圓に上り農村金融の圓滑を物語つて居るが資金回收に於いては金融指導宜しきを得たゝめ十一月末までの回收期限貸金十五萬圓に對し返濟金は二十萬圓を突破する好成績で特に信用金融合作社の如きは本春の貸附總額三十二萬圓本年十二月末迄返濟期限金四萬圓は既に全部現金を以て元利金の償還を終り返濟期限一、二、三月の貸附金の期限前償還總額も五萬圓に達し計九萬圓に上る好成績を示して居り財政部の第一期金融合作社擴充計畫の進展と共に全滿農村金融の整備圓滑は期待されて居る

支那の金融逼迫と
銀行筋の觀測

【奉天國通】支那側の現銀缺乏に依る金融逼迫に關し當地銀行筋では大体次の如き觀測を下してゐる

上海に端を發した支那側未曾有の經濟恐慌は短時日の間に全國に波紋を描いたがこれは神經過敏な中央の現銀流失防止策に依る謠言が斯く金融を梗塞せしめたものであるが、之がため奥地の農民は農作物の値上げに依つて懷具合はいゝ樣である

現在金融が逼迫した原因としては

一、上海方面が平價切下げ現銀缺乏に依る銀行不安の謠言により大手筋は紙幣を現銀に換へたこと

一、現銀が長江沿岸に吸取られたこと

一、紙幣不安奥地の農家は現銀を保藏して出さないこと

等に起因するが、これは例年起る現象で本年は特に中央の銀輸出禁止法令が同時に行はれた爲め今回の如く深刻を極めたものである、而し輸入期に入れば農村も自然保藏現銀を吐出するであらうし、一般の不安狀態も解消するだらうから此の金融不安も暫くであらう

印花稅收 增加

【奉天國通】奉天稅務監督署の本年一月より十二月十五日迄の全省印花稅收入額は百五十萬三千八百圓で昨年同期の百十二萬圓に比すれば三十八萬三千八百圓の增加であり、十二月末日迄には優に百六十萬圓に達する見込である、右增收の原因は各縣に於ける商工業者の復活による商標登記增加と脫稅取締が嚴重になつたものと觀られる

北洋漁區落札
來年二月廿六日頃か

【東京國通】日ソ漁業條約改訂を三月に控えソ聯側では廿五日附で明年度に於て競賣に附せらるべき海面の漁區表及び歷漁區表と貸付條件を遞遞總領事宛通牒して來たが、漁區落札期日は二月廿六日頃の豫定である

在滿外油三社
現況

石油專賣法實施を前に控え在滿外國石油會社の雄たる左の三會社に就きその現況を見るに大要左の如くである

一、アジア石油會社　ハルビンに本店を置き、奉天に分店を、全滿各地に代理店を有するアジア石油は三社中設備最も完備し、輸入油類は自家用船舶で直接運送し、營口及び奉天に收容力三、〇〇〇瓩の貯油タンクを三個、七、〇〇〇瓩タンクを二個及び收容力一、〇〇〇瓩のガソリンタンク二個を有し、油類卸小賣の爲の製罐工場を直營し職工三百人、製品は元寶牌僧帽牌鐵錨牌の三種卸値は一箱七圓五十錢、大同二年度賣上一萬一千箱

一、スタンダード石油　本店上海、分店奉天、「スタンダード」は固有の買辦制度により「アジア」に對抗して今日に至つてゐる、收容力六、〇〇〇瓩の貯油タンク設備、製品は老牌、鷹牌で前者の卸値一箱七圓五十錢、後者七圓三十錢

一、テキサス石油　本社は「スタンダード」同樣、米國系でその滿洲國內に於ける商業的勢力は「スタンダード」と略同樣である、製品は幸福牌七圓三十錢紅星牌七圓五十錢

奉天鐵路局
瀋海驛前に市場建設計畫

【奉天國通】奉天鐵路局では大北邊門の瀋海驛繁榮策のため同局所屬の驛前空地を一般に貸付け市場設立を計畫、既に土地貸付を行つてゐるが、之が條件としては必ず店舖を建築することになつてゐる、而して現在はまだ申込者少く豫定數に達しないので同局に於て對策協議の結果、明春より向ふ三ケ月間に全部を貸付け未建築のものは期限を附して急がせ同驛を中心として一大市場を開設することになつた

哈市家畜交易所
設立計畫進む

【ハルビン國通】ハルビン特別市に於ては資本金一萬圓を以て家畜交易市場設立計畫を樹て、目下着々準備を進めてゐるが同交易市場は特別市管內の一般人の家畜購入資金の融通、家畜飼糧の販賣、家畜の委託管理等を行ふもので、右家畜交易場の設立に依りハルビン特別市管內の畜產改良並に家畜賣買に多大の便宜が與へられる譯で各方面から期待されて居る

滿洲國官吏 消費組合定款（上）

第一章 總則

第一條 本組合は組合員の爲に日常生活に必要なる物品を購買又は生產し之に加工し若は加工せずして組合員に分配するを以て目的とす

第二條 本組合は滿洲國官吏消費組合と稱す

第三條 本組合は新京特別市新發路大同自治會館內に本部を置き必要の地に支部を置く

本組合は必要に應し分配所又は特約店を置くことを得

第二章 組合員及出資

第四條 本組合の組合員は滿洲國政府に奉職する者に限る

但特別の事情ある者は理事會の詮議を經て加入せしむることを得

第五條 本組合員は本組合と同一の目的を有する他の組合に加入することを得す

第六條 出資一口の金額は金五圓とし其の持分は一人に付一口以上三十口以下とす

第七條 出資第一回拂込金額は一口に付金一圓とし加入と同時に拂込を爲すものとす

出資第一回拂込後一箇年內に出資金の全額を拂込むものとす

前項拂込の金額及期日は理事長之を定む

第八條 本組合財產に對する組合員の持分は其の拂込濟出資額に依る

第九條 本組合員は理事長の承認を經て一口を除き他の持分を讓渡することを得

第十條 新に本組合に加入せむとする者は一定の申込書を理事長に提出するものとす

加入の效力は第一回拂込と同時に發生するものとす

第十一條 本組合員の脫退は次の事由に依る

一、組合員たる資格の喪失

二、除名

第十二條 本組合脫退の場合に於ける持分の拂戾は其の拂込濟出資額に止む

前項拂戾請求權は脫退後滿一箇年を以て消滅す

第十三條 本組合員下記事項の一に該當するときは理事長は之に對し一時物品の分配を停止し又は理事會の議決を經て之を除名す

一、轉賣、買入又は不當に貯藏する目的を以て組合より物品の分配を受けたるとき

二、組合の發行する購買券を他人に貸與し若は之を買入したるとき

三、出資其の他組合に對する支拂義務を怠りたるとき

四、組合の事業を妨ぐるの行爲ありたるとき

第三章 機關

第十四條 本組合に左の職員を置く

理事長 一名
副理事長 一名
常務理事 二名
理事 若干名
評議員 若干名
監事 二名

理事長及副理事長は組合員中より評議員之を推戴す

常務理事は理事の互選に依り理事は評議員の互選により選出するものとす

評議員は組合員之を互選す

監事は組合員中より評議員之を選擧す

第十五條 常務理事、理事及評議員の任期は各三箇年とし監事の任期は二箇年とす

但し重任を妨けす

補缺選擧に依り就任したる者は前任者の任期を繼承す

常務理事、理事及監事は任期滿了後と雖後任者の就任する迄は其の職を行ふ

各地評議員の缺員三分の一に達する迄は補缺選擧を行はさることを得

アジア膠皮工廠 近く竣工

（奉天國通）營口來電によれば目下同地北本街に建築中のアジア膠皮工廠は近く竣工を見、來年一月下旬頃より操業開始の豫定であるが、同工廠は主として滿人向の靴を製造し年產約百萬足を目標として居るが將來成績好轉の節は更に規模を擴張する豫定であると、尙同工廠は今回の新關稅改正により七分五厘のゴム製品輸入稅引下げを別段問題視せず滿洲品は勿論內地品にも對抗せんと意氣込んでゐる

圖們魚菜 市場開業

【圖們國通】圖們魚菜市場は十二月廿五日より事業を開始の運ひとなり既に各方面出荷主からの着荷も相當の量に上つてゐる、之に依り市內は勿論今回開通の圖寧線沿線の各都邑から遠く北滿に新鮮なる魚介、蔬菜、果實類が低廉に豐富に輸送供給さるゝ事となるので、此の市場開始は各方面から歡迎されて居り、一般家庭經濟の上にも裨益するところが多い、尙市場では會社組織の實現を俟つて仲買制度を實施すべく、それまでは每日のセリ市に一般商人の參加立會を歡迎してゐる

庵谷氏表彰さる

【奉天國通】前奉天商工會議所會頭庵谷忱氏は閑院宮殿下を總裁に仰ぐ日本產業協會より海外に於ける商業貿易功勞者として表彰されることゝなり、過日奉天總領事官宛表彰狀が送達されて來つたので二十五日正午より總領事館に於て蜂谷總領事より右表彰狀を傳達した

對外爲替

【東京國通】

對米 二八弗四分ノ三賣
同 一六分ノ一三買
對英 一志二片三二分ノ二一賣
同 三二分ノ一買

海外經濟

倫敦銀塊 休會
同 先物 休會
紐育銀塊 [illegible]
孟買銀塊 休會
米英爲替 [illegible]
米日爲替 [illegible]
米支爲替 [illegible]
スチール株 [illegible]
アナコンダ株 [illegible]

▲米棉

現物、十二月限、一月限、三月限、五月限、七月限、十月限 [illegible]

▲上海日本向

第一回、第二回、第三回 [illegible]

▲上海倫敦向

第一回、第二回、第三回 同上 [illegible]

▲上海紐育向

第一回、第二回、第三回 [illegible]

▲上海標金

本日寄 [illegible]

▲大連金鈔票

現物：寄付、引、高、安 [illegible]
十二月廿七日限 一月十五日限：寄付、引、高、安 [illegible]
出來高 [illegible]

▲大連上海向

現物 [illegible]

▲大連國際日米 / ▲阪神日米 [illegible]

▲大連媽台向 [illegible]

各地市場

▲大阪株式 [illegible]
▲同 短期 [illegible]
▲大連株式 [illegible]
▲奉天株式 [illegible]

▲大連特產

◎大豆 袋込 十二月限、一月限、二月限、三月限、四月限 [illegible]
◎豆粕 現物、十二月限、一月限、二月限、三月限、四月限 [illegible]
◎豆油 現物、十二月限、一月限、二月限、三月限、四月限、五月限 [illegible]
◎高粱 現物、十二月限、一月限、二月限、三月限、四月限 [illegible]

新京市況

◎特產現物：大豆 二、七〇 二車；高粱 二、五〇 五車；米 ‖；包米 ‖；小豆 ‖

◎特產先物：四月大豆 三、六六 五四車；四月限高粱 三、三三 九車；出來高

◎錢鈔：十二月廿八日限 鈔票對國幣 一二六、四〇；出來高 二萬圓；一月十三日限 鈔票對金票 一二六、七〇；出來高 一四萬五千圓；十二月廿八日 鈔票對國幣 九三、四五；出來高 一萬五千圓；一月十三日限 鈔票對國幣 九三、三〇；出來高 一萬四千圓

手形交換（廿六日）

國幣對金票、金票對鈔票、鈔票對國幣、現大洋對鈔票：金票、鈔票、國幣 [illegible]

大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊　本紙八頁　夕刊共

發行所　新京日日新聞社
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　永越內之介

軍司令官の資格で午後再び參內挨拶

皇帝より渥き御言葉を賜ふ

廿七日午前十時全權大使として國書捧呈の儀式を了せる南大將は一旦官邸へ歸還後更に關東軍司令官の資格にて西尾參謀長以下幕僚を隨へ午后二時宮內府に參內、滿洲國皇帝陛下に拜謁、新任の御挨拶を申述べた、之に對し陛下より優渥なる御言葉ありて同二時三十五分退下した

南新軍司令官

記者團に抱負を語る

南軍司令官は入京以來の公式儀禮を終へた廿七日午後四時半在京記者團と官邸に於て會見、着任挨拶と共に國都に於る最初の意見抱負を左の如く語つた

先づ 第一に私の入滿が日滿各位の御配慮により非常に順調に終つたことを感謝する、滿洲國はこれから眞の意味の建設時代に入る譯だ、そのためには目標をはつきりときめてかゝらねばならない、これらに關しては東京出發の時大体述べたが、今度來るに際しては政府と精密な打合せを行つて來た國策大綱についての私の意見は政府のそれと全然同じだと思つて頂き度い

現在 及將來の滿洲國に於る問題に就て話して見やう、治外法權撤廢の問題、これはどうしても撤廢するのが原則だ、然しその時期に關してはこれからの工作により決定するものだ、滿鐵改組問題、之は昨年は失敗に終つたがこれは大問題で滿洲に於る鐵道政策を決定するものであり、外交經濟的には世界的影響をもつものであり又株主の利益も考へねばならぬ、之等の點を考慮して愼重に研究しなければならない政府ともこれに就いて話合つては來たが、結論には達してゐない

滿洲 國の幣制問題、之も大いに研究を要するもので見極めがつく迄は今の方針で行くよりない以上の如く色々の問題があるが何にも增して大切なことは滿洲國が眞の獨立國家であることを中外に徹底させねばならぬことだ、意外な事に時々滿洲國は第二の朝鮮になるのではないかとの話を聞くが以ての外だ、滿洲國建國以來今日迄の努力は日滿議定書並に聯盟脫退に際して賜つた御詔勅の精神に合致した正義的精神に基くものだといふ事を知つて貰はなければならぬ、何は措いても滿洲國を健全なる獨立國として完成させて、日滿、支三國手を結び合すに非ずんば東洋永遠の平和は確立しない

この 意味に於て滿洲國の成立が東洋否世界平和の礎石たる所以だこのために我々は益々努力をつくさねばならぬが從來滿洲國についての日本への報道は屢々誤つたものが傳へられて居る、之を大別すると三つある

一、朝鮮經由南滿鐵道を通りハルビンを見物歸路山海關をのぞき大連出帆で歸つた人達の話は滿洲を早く平時化せよといふのである

二、日本海から北鮮を通り京圖、拉賓線によりハルビンに出るこの經路を視察して來た人達は滿洲國は未だ非常時だと語る

三、更に交通不便な滿洲國內地域或は北鐵東部線等を視察した人達は危險この上もない、あんなところに金を注ぎ込むのは無駄だと悲觀論を吐く

これらの相違は治安の程度に應じての觀察である

然し 悲觀するのは早過ぎる、事變直後全滿に瀰漫してゐた匪賊共も奥地の或部分局部的鐵道沿線に局限され、現在では僅か二萬五千になつてゐるのだ、そして之が建國後三年に滿たざる間の整備であるのに氣がつけばこんなにスピードを持つた發達は驚異的記錄だと云ふ事が分るだらう、兎に角如上の如き報道の不一致を是正するには日本の對滿認識の向上徹底が第一義的任務だ、最後にもう一度言つて置き度いは、正義に立脚しての獨立國家の建設が、日本のあらゆる國策の重心をなすものである事だ、この方針は一貫して變らず、如何なる政府が日本に出現しやうとも確固不拔不變のものだ、云々

南軍司令官

午後國務院訪問

廿七日午後二時四十五分南關東軍司令官は滿洲國國務院を訪問、會議室に於て鄭國務總理以下二十名の特任官と會見着任の挨拶を述ぶるところあつた

調印ちかづく

日滿經濟會議協定

日滿兩國政府は近く日滿兩國の經濟的協力を益々促進せんが爲協定を締結することに大體の方針は決定した模樣で南軍司令官の着任はその時期を促進するものと見られる、該協定の要旨は左の如きものである

第一條　日本國政府及滿洲國政府は以下定むるところに從ひ日滿經濟委員會を滿洲國新京に設置することに同意す

第二條　日本國政府及滿洲國政府は夫々（滿洲國滿鐵附屬地を含む）及關東州租借地に於ける日滿兩國の經濟關係に關する事項を日滿經濟委員會に附議することを約す

第三條　日滿經濟委員會は左記のものを以て組織す
日本國政府の任命する委員若干名、滿洲國政府の任命する委員若干名、委員長は日本國政府の主席委員を以て之に充つ

第四條　日滿經濟委員會々議に於ける議事は委員の表決過半數を以て是を議決す、可否同數なるときは委員長の決定する所に依る

第五條　日本國政府及滿洲國政は日滿經濟委員會々議が採決したる決議を夫々實施する爲能ふ限り速かに必要なる措置を採ることを約す

第六條　日滿經濟委員會に關する事務を掌する爲該委員會所在地に常設、日滿經濟事務局を設置す

第七條　日滿經濟委員會に要する費用は該委員會々議の決定する割合に從ひ日本國政府及滿洲國政府夫々之を分擔す

尚兩國委員は同數である

我在滿經濟機構の根本的建直し

來春を期して愈々具体化

【東京國通】政府は在滿經濟機構の根本建直しを期し外務省其他の關係當局へ腹案作製を命じたので、外務省では既に數種の腹案を得たが、日滿經濟委員會設置に伴ふ新條約の方式につき現地で調査の任を果した東亞局栁井第三課長が二十六日歸京したので、廣田外相は其報告に基き更に軍部とも協議來春南大使を通じ滿洲國と交渉開始の筈である、立案の趣旨は左の如くであると解されてゐる

一、日滿共同經濟委員會設置
一、該委員會は兩國經濟に急激な變化を與へぬ事を前提として共存共榮策の樹立を主眼とする
一、該委員會は日滿同數の委員と專門家の隨員で組織す
一、委員會に事務局を置く

人權蹂躙問題

貴院側の空氣硬化

【東京國通】人權蹂躙問題を續り大藏省事件は臨時議會で問題化したが、休會明けの貴族院本會議や豫算總會でも岩田博士は小原法相を飽迄追及鵜澤總明氏も詳細な調査に基き人權蹂躙で突進せんとし松本烝治氏も小原法相と一騎打ちをする形勢が見え、本問題に關する貴院の論戰は深刻化するであらうと見られる

朝鮮向大豆混保

【奉天國通】昨年十月よりの懸案として總局、滿鐵其他關係當局間に協議を進められて來た北鮮向大豆の混合保管實施は今回朝鮮總督府より清津雄基兩地の保稅地域（最少限度收容量約六百車）無料借受けに對する認可が來たので愈々來年一月一日より正式に實施される事となつた、右混合保管制度は現在の大連向大豆の混保制度と同一條件の下に實施するものであつて京圖、拉賓、賓北三線各驛發（二十二驛）のものに限られ特に荷主の便宜を考慮に入れ原則として國境に於て支拂ふべき輸出稅は發驛にて鐵道が代納し倉敷料證劵發行の日より三十一日まで一日一車三十三錢と定め一方入庫の日より京圖線發は十三日賓北線は十五日間の輸送責任期間を設け船積に對する荷主の不安一掃につとめることとなつて居る、右新制度實施により從來大豆一車（三十噸）二十日間の保管料が五十八圓七十九錢であつたのが六圓六十錢と約十分の一の遞減を示して居る、尚右實施に伴ひ總局に於ては應急手段として清津、雄基に無料保稅地域に使用すべき防濕布六百枚（八萬圓）を購入したが將來は廣大なる保稅倉庫を設立する計畫である、この混合保管實施は總局として劃期的大英斷たると共に北滿大豆の北鮮進出促進に多大の貢獻をなすものとして各方面より期待されて居る

內閣審議會要綱

廿七日閣議決定の內容

【東京國通】廿七日の閣議は國策審議會要綱を決定したが右要綱は左の如くである

一、名稱　假に內閣審議會とする
一、政府との關係內閣に屬し重要政策に就て審議する諮問機關とする
一、組織
イ會長は內閣總理大臣が當ること
ロ、委員は十五名以內とし學識經驗ある士を選んで勅命せられる
ハ、國務大臣は委員にならぬこと
但し會議に出席して意見を述べることを得
ニ、內閣審議會に關する庶務は內閣調査局が之を掌ること

內閣調査局設置要綱

一、內閣調査局は內閣總理大臣の管理に屬すること
一、內閣調査局の重要事務は內閣審議會に屬する總務並に審議會に提出すべき資料試案等の整理及行政、財政經濟、勸業、教育、其他一般重要政策に關する調査尚統帥事に屬する軍事並に外交の機微に屬す事項は除くが廣義の國防外交、例へば國防と財政の關係、外交と貿易の關係等は關聯事項として調査の範圍に入る、その他特に內閣總理大臣から命ぜられた重要政策案の審査を行ふこと
一、組織　內閣調査局には長官一名（勅任）、參事官十五名（內五名勅任）
尚此他に特別の事項を調査するため專門委員或は調査員等を命ずること
一、專門委員又は調査員は官吏、學者、實際家等朝野の有識者の協力を仰ぐことと し各方面の人材を網羅すること
一、部門を分けず參事官をして自由に組合せを行ひその專門事項を單に調査に當らしめること
一、調査局には常任委員を置く、常任委員は內閣書記官長、法制局長官を充て內閣調査局と內閣審議會との連絡に當り右委員は內閣審議會に於ては幹事となる
一、豫算は初年度において四十四萬圓程度、平年度三十八萬圓程度となる

審議會、調査局

一月十一日具体案を上程

【東京國通】內閣審議會及び內閣調査局の具体案は直ちに作製に當り遲くも一月十一日の閣議に於て之が設置に要する追加豫算案と共に決定する意向で、之が審議機關は職員百名に達する頗る尨大なものである

蔣介石の四川統一

觸手愈々動く

【南京國通】蔣介石氏の命により南昌行營の主要職員を以て今回新に組織された四川剿匪參謀團は今後江西剿匪に於る南昌行營と同樣の權限を以て四川軍事の統一指揮に當るは勿論、政治上の權限をも當然掌中に收めるものと見られるが、これより先財政整理を名として四川財政特派員に任命された陳紹寛氏は近く赴任する筈で、之等を併せ見れば蔣介石氏の四川統一の觸手は既に省主席劉湘を完全にシャットアウトして四川の政治軍事に及んだ譯で其の成否は兎も角蔣氏が對四川統一策の第一歩を踏み出したと云ふ點に非常な注目を集めてゐる

尚は南昌行營主要職員の參謀班任命で南昌行營は解消する事となり、參謀班首席に任命された行營第一廳長は蔣氏の命により行營職員を召集して撤廢準備會議を開いた

寫眞說明　國書捧呈の前前勤民樓の階前に於いて滿洲國皇帝南全權に握手を賜ふ

『廢棄通告』に

愼重を期する米國

【ワシントン廿六日發國通】國務省では齋藤大使と受理打合せを完了したが出來る限り刺戟を避け單純なる事務手續きと看做す方針で、トーキー寫眞の撮影願ひも斷つてゐる

委員長選擧で

衆議院本會議行きなやむ

【東京國通】衆議院の各委員長の選擧問題を續つて政民兩黨は頗る微妙な關係に立ちつゝあるが、二十七日の衆議院本會議は右問題に對し前以て兩黨の間に意見一致を見るに至らなかつた爲め十一時開會したるも直ちに休憩、その儘午後二時に至るも再開し得ざる狀態にある

第一回產調團

廿七日　大元氣で歸る

實業部臨時產業調査局第一回現地調査團鹽見團長以下一行五十餘名は二十日間に亘る調査を了へ廿七日午後三時北鐵南部線で歸京した、全員酷寒と鬪ひ拔き凍傷ですつかり顏をふくらせてゐるが頗る元氣で宛も凱旋兵のやうな勇ましさだ、克山を中心に背後農村の各般に亘る實情を調査し調査囊からリクサック迄一杯に調査書類を詰め込んで來たが產業國策の基礎は我等の手で築くのだといふ自覺心と熱意と感激の情を奔騰させ乍ら「屠蘇の匂ひを嗅いだら早速資料の整理に取掛り一月一ぱいに仕上げます」と語つた、尚一行は新京驛前で記念撮影を行ひ旅裝を解いて慰勞晩餐會に臨んだ

團員交々語る

克山背後地農村の生活狀態、作柄狀況、反當收入、供給方面等農事各般の調査につき一行は交々語る

黑土地帶の沃地で農村生活狀態も略々良好と見受けられます、調査は各員の努力と地方官廳の援助で農村も相當理解して種々の資料を提供してくれ努力の提供もあつたので非常に順調に運び、從來好い加減な資料しかなかつたに比し今度はしつかりした資料が出來上ります、寒さには弱りましたが一同の健康狀態は良好で別禍もなく幸ひでした、これから統計的數字的種々な資料整備に取掛りますが一月一ぱい位迄には纏め上げたいと思つてゐます

民政部檢閲股

映畵檢閲多忙

民政部檢閲股には全國映畵檢閲統制後に於ける檢閲數は國運の發展に伴ひ其の數も驚異的數を表し係員は大多忙を極め本月に入り毎日午後十時頃迄一例拍車をかけ檢閲を行つてゐるが舊正月迄にはより以上の增加を見る見込みであるが之等映畵の九割までは米國もので又トーキー物が多く無聲と比較すると七對一の割である、因に七月より十二月迄の件數卷數を觀るに左の如くである

月	件數	卷數
七月	一四一件	九七四卷
八月	一三三同	八三五同
九月	一三七同	六三一同
十月	一〇一同	四九四同
十一月	一三一同	六七二同
十二月	一四八同	七八六同

民政部

科長會議

內部改組討議

滿洲國民政部に於ては二十六日各科々長會議を開催し部の組織に就き討議した結果外事科を新設し警務司內に外事股を設置する事となり外事科長谷氏は保安科長に轉任し司法科長に松岡氏を推し來春一月一日より之を實施する事と決定した

人事往來

▲鶴見書記官 二十六日午前十時發歸朝
▲三宅中將 同上
▲山ノ內靜雄氏（電々總裁）同歸任
▲久米成夫氏（奉天總務廳長）同歸任
▲田中少將 二十六日旅順より
▲小坂衛生課長（關東局）二十六日午後五時三十分旅順より
▲杉村正氏（同）二十六日午後八時發南行
▲米內山震氏（同）同
▲松田芳助氏（哈警察廳副廳長）同

天氣　南西の風晴
氣溫　最高零下八度三　最低零下二十二度五
日出　前七時一三分
日入　後四時　八分
月出　後一一時三十一分
月入　前一〇時四十一分

發展途上にある都市の横顔（三）

伯林新聞の「新京印象記」

財政部管野氏譯

國都建設局の屋上に滿洲國外交部宣化司長川崎寅雄氏が立つてゐる、彼の周圍には黑の制服をつけた日本の大學の休暇利用の學生團が川崎氏の話を聞いてゐる「一九三二年九月に滿洲國皇帝は國都建設局設置の命令を下した、建設局は二つの五ケ年計畫に於て新國都を生み出さねばならない現在我々は未だ第一の五ケ年計畫の前半に從事してゐる此の二年間我々は全くの草原から諸君が今見らるゝが如き建築を造り上げたのである、御承知の如く幅員一〇乃至五四米の七本の大街路が新國都を各區に區分してゐる、外交部の官廳の附近に諸君は新國都の官廳、商工業地區が誕生しつゝあるのを見るであらう、新中央銀行の建築は六百五十萬圓、國務院の新建築は二百萬圓、同じ割合で宮內府、電信電話會社、其他の官廳の新築が目論まれてゐる、一九三四年には三〇〇〇戸の建築を成し遂げた、現在の建築には日本人側千三百萬圓、滿洲國側七百萬圓を投じた、總務廳長遠藤氏は新關係者叙任のために東京に出掛けてゐる、諸君が市街と反對側を望まれるならば新ゴルフリンクス新公園將來の圖書館、博物館の建築敷地を見るであらう」

間接の文化？

國都建設局を去つて我々は再び外交部の軍隊の警備してゐる玄關に出た、我々は玉蜀黍の穗につまづいた二年前吾人はこれを宮殿內に見かけたものである、建築騷音が一分間途絕えたならば多くの寫眞機のシャッターが聞えるであらう、日本の新聞社及代理店はその寫眞をすべての街角に貼り付けてゐるあらゆる建設の局面が撮影され、日本民族はかくして故鄕の新聞にその子滿洲國の生長を見聞してゐるわけだ

我々を乘せたシベリヤの小馬は車を曳いて苦しさうに渺茫たる泥の並木路を通つてヤマトホテルに戾つてゐる、到る處に小さな家々がある家のない淋しい並木路の兩側には前述の二つの腕のある銀燈が二列續いてゐる此等は夕景に幻の如く美しい姿を描き出す道路の傍らの水溜に風に搖らぐ銀燈柱が影を寫してゐる、この燈柱は又皆旗竿の代りを勤めるやうに設備されてゐる、私の日本人の友平野氏は突然車から飛び降りて兩手で泥土をつかみ一瞬間考へて言つた「吾人之で何を作り上げるのか？」「…[illegible]？」「…それには餘りに粗雜である、然し滿洲國の小學校の粘土細工の材料にはならう、子供等はこれで馬だの兵士を捏ね上げる、私はこれを文教部に提議しようと思ふ」平野氏は私がかつて見た日本人の日本人である、虛無から總てを創造せんとする、これが彼の信條である、この氣質を以て日本人は新京を作り上げてゐるのだ

先年外交部建築に用ひられた美しい線の屋根瓦は今年は屢々落下した、かくの如く偉大なる日本の友の大規模、勤勉精察にも拘らず滿洲國支那人に間接に與へられた文明は幾分やすつぽい一時的の光澤を放つてゐる（完）

國際政治の動向

軍備外交產業を一丸として一國の國防はじめて固し

法學博士　芦田均氏談

今日世界で噂にのぼつてゐるのは

軍縮會議の成行と日露戰爭であるがこれは單なる風說として輕視してはならない、かかる重要問題に直面して愼重に考へるのが我々の義務だ、何故この樣に噂が擴まるか、第一世界各地に於て日露戰爭を希望してゐる者が大分多く彼等は世界不況打開の手段に利しようとしてゐる、第二は露支の宣傳でロシヤは第三インターの各支部を動員して日本反對のプロパカンダを行ふ上に彼等は宣傳外一切を以て主義としてゐる、又なほ支那は非力を自覺してゐるので

世界の輿論で押さうとしてゐる、これを聞き傳へて外國人はまた今にも戰爭を初めるものと思つてゐるがそれは誤つてゐる、けれども、それは誤聞としても世界の輿論はたしかに惡化してゐる、滿洲問題にはもはや興味を持つてゐないが海軍問題になると恐しく熱心であるロシヤにしても該問題に就ては何事も云つてゐない上にロシヤにとつて重要な東支鐵道まで賣らうとしてゐる、これには種々の理由もあらうが事變以前は北滿洲はロシヤ、南滿洲は日本の勢力範圍となつてゐてロシヤは

東支鐵道を軍事的に利用する事が出來たが今はそれが出來なくなつたので日本とはなるべく平和な關係を結ぼうとしてゐる、日本の津々浦々に漲る軍事思想の强化と日本外交とは相異るのであつて前者は無責任な人々の流言であるがこれも日露戰爭の噂の一因を爲してゐる、兎角の噂にも拘らず北鐵け日本に渡らうとしてゐるのだからこの際日本は徒らに騷がず外交の成功を助けねばならない、又軍縮問題に就ては日米相異つてゐる、彼等はワシントン會議を以て日本の勝利に歸してゐる、何故なら、アメリカもイギリスも

太平洋の島々には現在以上の防備擴張をしないと云つてゐる、而して彼等の艦隊は航海中二割の戰鬪能力を失ふ事となるから五、五、三の比率は防備平等であると軍縮問題に就て日米英の考へ方が斯く對立してゐる以上政治的に解決し得ずに軍縮問題を技術的にのみ解決しようと試みるならばその不成立は當然である、日本全權が英米に通告した案の內容と英米との間には大きなへだたりがある技術的なもののみを重要視して假令ある一二國に勝つ軍備を有したとしても多くの國々が聯合したならば結局優勢を保てない

國防とは狹義には陸海空軍の力によるのであるが、根本的には然らずして外交的に親しい國がなければならない、斯くの如く外交は國防上必要でありまたその他產業狀態とも關聯してゐるのである　だから國防には技術のみでは駄目なので、軍備、外交、產業を打つて一丸としたものであらねばならない

滿洲建國が支那に及ぼせる影響（一）

滿洲評論社長　小山貞知

事變當時滿洲青年聯盟理事として大陸に活躍し、建國後は滿洲國協和會理事として王道國家建設に盡瘁せる小山滿洲評論社長は二十三日午後六時三十分から「滿洲建國が支那に及ぼせる影響」と題し次の如きラヂオ放送を行つた

茲に日本　皇太子殿下御誕生滿一年の佳辰に當り、只今日滿全國民を擧げて禱榮を歡呼して居るときに不肖私がラヂオを通じまして國都新京から一歩先に生れ出でた滿洲建國が大陸支那に與へたる影響について皆樣に御話申上げる機會を得ましたことを此の上もなき光榮と存じ感銘措く能はざる次第であります

私共の歷史は建國工作については神武天皇の建國大業といふより外に智識を持ちません、外國の歷史には建國工作が大分あつたやうでありますがその國の生命は何れも長くて三四百年位の永續性より外無かつたのでありますが我が神武の建國は三千年の永きに亘り國礎愈々固く皇運彌々榮え所謂天壤無窮の建國工作でありまして、全く世界に類例が無いのであります、滿洲國はその光輝ある歷史を有する大和民族の參加によりて建國工作を進めたのでありますから世界の中でも日本に次いだ惠まれた建國歷史を持つものであると言ふても敢て溢言ではないのであります、この故に皆さんが感づいて居られると居られざるとに拘らず王道滿洲の建國がその四隣に與へた影響は實に偉大なるものがあるのであります　その一例を擧げますと日本內地でもさしも橫暴を極めた政黨が腰を拔かしたり歐洲でも、さしもの國際聯盟が東洋に關する限り鰡の子見たやうに首を縮めたり色々と影響を受けて居ります、これが卽ち事理を超越した聖業の聖業たる所以であります、私は茲では其の支那本土に及ぼせる影響だけをとり上げ極く平易に御話申上げたいと思ひます

私は滿洲建國以來支那本土を三回視察しました、第一回は昭和八年の正月でありましたその時は參謀副長板垣閣下に御伴して天津、北平、濟南、南京、上海、靑島と經廻つて來ました、その頃の支那は未だ滿洲建國の眞相を掴み得なかつたやうでありましたがそれでも識者の間では次の三つの事態を擧げて滿洲の將來を大いに囑望して居りました、その第一は滿洲國に豫算決算のあることでありますが、支那にもこれはありますが、それは形式だけであつて實行されて居りません、從つて人民から見れば政府は一部人士の搾取組合であるとの感がするのであります、國家が豫算決算によりてその國政を運用して行くといふことはそこに政治生活の進歩が見られるのであります　その第二は國幣の統一であります、支那內地では紙幣が各種各樣で而も日により或は政變により相場の變動甚だしく從つて正當の產業は起らず民心は期せずして投機的に陷るのであります、その第三は滿洲國には再び軍閥が起らないと云ふことであります、國民廿餘年の惱みは軍閥の私爭に原因するのであります、村治派等の學者もあり隨分よい政見を樹てる人は支那にも澤山ありますが、私勢力を把持して居る軍閥の暴戾によりて何時も政治の進歩が妨げられ民生の保障が得られないのであります

然るに滿洲國は、大和民族の參加によつた爲めでありませう、建國と共に豫算決算があるので政務民衆は漸を追ふて澁み又中央銀行の設立を見て以來國幣は統一され人民の勤勞は正當に酬ひられて居ります、而して關東軍の國防參加により軍閥が私兵を養ふ禍を再ひせずこの三つの點は確に滿洲國の將來をトする徵證であり且支那本土有識人士から見て誠に羡望措く能はざる所であつたのであります、だが然しその頃は未だ彼の地の人達は舊き日本の英米隨從外交を連想して居りましたが故にこの事態が何時まで續くかと云ふ懸念を持つて居りましたので將來の見透しについて定見を缺いで居つたのであります

滿洲東方の大玄關　清、羅、雄、三港見學記（十三）

在新京　十五郎生

羅津港

羅津港の見學は日程の都合に依り僅々數時間の見學に過ぎなかつたことを遺憾とする　羅津港は北鮮第一の良港であると稱せられて居るが恐らく朝鮮沿岸全線を廻つても之れ程の良港は一寸見當らないであらうと思つた、港の多くは防波堤を必要とする所が多いのであるが此羅津に限つて人工防波堤と云ふものを要しない港灣の入口には天然防波堤とも稱すべき大草島小草島二島が屛風の樣に併立して居てこれが風波を遮ぎる、其上港の東方の突角と小草島との間約三十キロの間は水淺く約三米位の深さなるを以て大船を通ずることが出來ず殆んど小帆船が、すべる位の程度であるから、大きな波は此處で大概せき止められて終ふ、大小二島の間は襟を合せた樣に食ひ違ひになつて居て、其間から船が出入する而かも其二島の間は水深が三十米位あるから如何なる大船も通行することが出來ると云ふ實に理想的港灣である

▽……△

港內は直徑約六哩の廣さを持ち深さ二十五米から三十米あり一萬噸級の船舶は裕に容るゝことを得べく、聯合艦隊全部を容れても餘裕綽々たるものがあると云ふ實に驚くべき港灣である、但多季は二十米から三十米位の疾風が吹き而も北北西の風が多いのが欠點であると云ふ、それから六七八月の頃は雨が多く濃霧が多いと云ふが、濃霧は羅津のみに限らず日本海一般の名物だから止むを得ない

雄基と羅津との距離は十五キロ程にして、目下兩者間に鐵道架設中であるが、其間に小嶺があり隧道を通ず延長約三キロ、此隧道さへ開通になれば何時でも運轉する事が出來ると云ふ、明年三月には開通の豫定で工事を取急いで居る　此雄羅線開通の曉は雄羅二港の連絡は言を俟たず、北鮮地方より京圖線に依りて歐亞大陸の大幹線と結び、滿蒙奧地の開發と共に物資の大集散地となり、經濟上軍事上重要なる港として、又滿洲東方の大玄關口として、又日本海岸裏日本の各港と提手すべく、又南方朝鮮海岸、支那海、台灣等に至るまでの玄關口としての使命を果すであらう

▽……△

現在の羅津はまだ未成品と云つてもよい、舊市街は殆んど漁村が少々發達した程度の漁師町ではあるが、新市街豫定地を見ると其規模の大なることに驚くであらう、又港灣整理の計畫を見ると驚くべきものあり、水道の設計埋立工事等現に着手しつゝある所を見ると實に羅津の將來は目覺ましいものであらう

既に豫定地には大倉庫點々橫たはり、滿鐵官舍は軒を連ねて所定に位置し、倘增設せらるることであらう、此處に彼處に高樓巨屋點々屹立せるのは都市計畫既定の指示であらう、埋立工事の軌道は縱橫に荒茫の地を走り、港には岸壁工事浚泄工事に或は河川工事に將來の大都市を目懸けて大なる奮鬪振りは實に眼の醒むる心地す

此將來有望なる羅津港は以前に羅津洞と稱する一部落にして百五十戸程の漁村に過ぎず現新市街豫定地の如きは、或は沮洳たる蘆村なり、田畑と稱するは名のみにして粘土質にて水泄惡しく、地味瘠せて農耕利あらず、殆んど不毛の荒地であつた

▽……△

然るに一朝雄羅線鐵道設計の發表あり、又滿鐵が築港の計畫ありと傳はるや、時こそ來れと或は東京或は大阪或は朝鮮の事業家、大資本家等潮の如く寄せ來り、土地收買に乘出し荒茫々たる不毛の原野も坪何圓、或は十何圓、何十圓とせり上げ、茲に賣買行はれ一頃と云はず、山腹、山麓、平地、濕澤、悉く是れ金、昨日の土百姓も今日一躍成金大盡たるものあり、ブローカにて奇利を博するものあり、或は見當違ひの土地を高價に攫ませられて始末に困り悄然たるものありと云つた樣な悲喜劇を演出されたと言ふ話である

然るに其沸騰高熱に達したる時の地價は、冷靜沈滯に歸したる現在の地價に副はざる場合多く、損をしてまでも賣るに忍びず、貸地としても算盤立たずと云ふ有樣で買はんとすれば高價なり、借らんとすれば地代嵩はずそれが爲に事業家は敢て進まず、躊躇逡巡の狀態にあり、從て當地發展を阻害する傾向もありと聞く

滿洲國辭令

稅務監督署屬官　佐藤辰榮
給五級俸　稅務監督署屬官　澤田文重郞
同　日箇原甲子郞
給六級俸（各通）　稅務監督署屬官　井口憲治
給四級俸　稅務監督署屬官　漆間弘
給月俸百十五圓　稅務監督署屬官　高森貞二
給五級俸　稅務監督署屬官　內山文吉
給七級俸　稅務監督署屬官　加藤正雄
同　木幡利秋
給月俸八十五圓（各通）　稅務監督署屬官　有宗政明
給八級俸　稅務監督署屬官　井門通夫
同　梅野一
給七級俸（各通）　稅務監督署屬官　西村武雄
給月俸八十五圓　稅務監督署屬官　小林二三男
給八級俸　稅務監督署屬官　田中陸夫
給月俸八十五圓　稅務監督署屬官　天野保治
給四級俸　稅務監督署屬官　西方讓
給月俸九十五圓　稅務監督署屬官　鈴木郁郞
給四級俸　稅務監督署屬官　橋本貫一
同　佐藤喜左衛門
給五級俸（各通）　稅務監督署屬官　三谷繁雄
同　櫻井尙
給月俸百十五圓（各通）　稅務監督署屬官　河井功
給六級俸　稅務監督署屬官　吉村武市
給月俸九十五圓　稅務監督署屬官　長友利雄
給八級俸　稅務監督署屬官　木田晋次
給九級俸　稅務監督署屬官　浦山武一
給八級俸　稅務監督署屬官　長內賢造
給九級俸　稅務監督署屬官　谷戶通滋
給七級俸　稅務監督署屬官　佐藤欽一
同　濱田喜[illegible]
給四級俸（各通）　稅務監督署屬官　吉田謙二
給六級俸　稅務監督署屬官　富坂德太郞
給月俸九十五圓　稅務監督署屬官　中山忠氏
給月俸百五圓　稅務監督署屬官　野口良雄
同　田村宏
給八級俸（各通）　稅務監督署屬官　工藤鐵治
給月俸八十五圓　稅捐局屬官　長谷川信平
同　門口喜平治
給四級俸　稅捐局屬官　山元隆志
給三級俸　稅捐局屬官　秋山文一
給五級俸　稅捐局屬官　山下三勇
給月俸百五圓　稅捐局屬官　淺井源治郞
給七級俸　稅捐局屬官　山田正泰
給月俸九十五圓　稅捐局屬官　小川九五郞
給四級俸　稅捐局屬官　渡邊忍
給七級俸　稅捐局屬官　平山榮次郞
給九級俸　稅捐局屬官　岡根正雄
給月俸八十五圓　稅捐局屬官　齋藤光三
給四級俸　稅捐局屬官　市來武章
給六級俸　稅捐局屬官　村岡魁[illegible]
給月俸九十五圓　稅捐局屬官　菅原尙男
給月俸八十五圓　稅捐局屬官　千葉之也
給七級俸　鹽務署屬官　岩沙德二
給三級俸　鹽務署屬官　福山靜
同　池田喜一
同　木村繁太郞
給五級俸（各通）　鹽務署屬官　國武正志
給八級俸　鹽務署屬官　石川孝英
給九級俸　鹽務署屬官　齋藤晉熊
同　安藤繁二
給月俸九十五圓（各通）　鹽務署屬官　三井三良
給月俸八十五圓　鹽務署屬官　足助一雄
給九級俸　鹽務署屬官　土井伊兵衛
給[illegible]級俸　鹽務署屬官
給月俸百五圓　鹽務署屬官　中村豐治

儒語

政友の爆彈動議で切角の連繫運動にヒビが入つた政民兩派、その感情が最近次第に惡化して昔の犬猿に返りさう▼とはいへ一黨一派ではこの政黨非常時を切拔ける自信など毛頭ござらぬ、そこで兩派の策士連が再び連繫工作に暗躍するであらうが、根が政黨根性を脫脚し得ない以上、いづれはまたもヒビがいるに決つてゐる▼政黨の無力は吾等に取つて決して喜ぶべきでない、從つて連繫運動また惡くはないが、それよりも政黨自身がまづ目覺めなければならない▼年末もおし迫るといろいろの事態が發生する、商人の不良品賣出しもその一つであに食料品のみならんやといひたい▼慌しい歲の瀨の人間心理を惡用してどさくさに紛れて不良品の棚ざらへをやるなどは以てのほかで、一々當つて見るとほかにもいろいろあらうと思ふ、この際警察當局の徹底的調査を要望する▼滿洲國官吏消費組合設立に果然一般小賣業者から反對の烽火があがつた相手は不意打だけに商人側の驚きも一方ならず、この戰ひどちらに軍配があがるか見ものだ

告示第一四號
來ル二十九日ヨリ昭和十年一月三日迄休廳ス
右告示ス
昭和九年十二月二十七日
在新京　總領事　吉澤清次郞

告示第一五號
昭和十年一月一日午前十時ヨリ同十一時迄當館構內參事官官邸ニ於テ拜賀式ヲ擧行ス
右告示ス
昭和九年十二月二十七日
在新京　總領事　吉澤清次郞

滿洲國官吏消費組合問題

久末理事急遽赴連

全滿的に反對の烽火を上げん

在滿商工業者に大きな衝動を與へた滿洲國官吏消費組合設立につき夕刊所報の如く新京輸入組合では二十七日午後一時から組合事務所に緊急役員會を開きこれが對策を協議した結果現在の滿鐵消費組合のみにても各地小商工業者が可成の打撃をうけてゐる際更に今後斯うした消費組合が設立されることは在滿小商工業者の死活問題であるからこの際あくまでもこれが實現反對の運動を起しこれがためには獨り新京の輸入組合では如何ともすることが出來ぬ立場にもあるので滿洲輸入組合聯合會の名により烽火を揚げ在滿各地商工團體と共同戰線のもとに目的の貫徹を期する必要があるといふことに意見の一致を見久末理事は同日午後四時新京發列車で急遽大連の輸入組合聯合會に向つた

新京商工會議所

全滿聯合會を開催すべく各地會議所宛通電

別項滿洲國官吏消費組合設立について新京商工會議所でも二十七日午後三時半から緊急役員會を開催、協議を重ねた結果同問題は商工業者にとつては實に重大問題であり關係するところも大きいから會議所は會議所獨自の立場でこの問題に善處するため滿洲商工會議所聯合會の聯合會を開くこととし直ちに左記電報を大連、鐵嶺、營口、安東、奉天ハルビンの各商工會議所、遼陽、開原の兩實業會、撫順實業協會、四平街市民協會に發し全滿的に反對運動を起すこととなつた

滿洲國消費組合につき聯合會を開き對策を講ずる必要ありと思ふ來年早々當地に開きたし御賛成を乞ふ

滿電大賣出 景品當籤番號

滿洲電業新京營業所では廿七日午前十一時より警察官立會の下に歳末大賣出マーケット景品の抽籤を行つた結果左の如く當籤の發表を見た

▽一等二九八

▽二等二三九、五四六

▽三等九五八、八二二、五一四

▽四等八〇〇、八八一、九八一、八四〇、四〇四、八二一、五四七、六三八、八九一、六八五

▽五等一九六、八九六、九五〇一一、七〇八、八、〇二一、九七三、五八五、七四一、一、〇〇八、九七六、三五三、五六一、四〇五、三八七、六四四、七七二、四〇六、七七四、一五〇、二四九、三〇八、二二一、一七九、七二、二八一、七四七、四五〇、五五七、五一七、七八八、六一二、八〇四、四九六、七一八、六八六、三六五、一〇〇、五七一、八七六、三七一、八六九、三九二、一七八、九六〇、七二七、四二五、六四七、五一〇

警察署の看板變る

【奉天國通】在滿機構の充實により卅年の貫い歴史を有する關東廳も愈々閉鎖され、關東局として新しい第一歩を踏出す事となつたが、奉天署でも廿七日「關東廳奉天警察署」の表看板を外し、「關東局奉天警察署」として活躍することとなつた

下田高等法院長歸任

南關東軍司令官を迎へのため來京中であつた高等法院長下田勝久氏は司令官の訓辭をうけ二十七日午後四時新京發列車で歸連した

城大アイスホッケー軍惜敗

【安東國通】滿洲へ遠征の京城大學アイスホッケーチームは廿六日安東に於てオール安東軍と一戰を交へた後午後八時三十分發奉天に向つた右安東軍との試合は午後三時五分より四時五分に及び接戰の結果三對二で遠征軍が惜敗した

海軍大學視察團 一月五日歸國

【安東國通】本月廿一日東京發滿洲視察の途に上つた海軍大學生二十名は鈴木大佐以下五名の教官に引率され一月四日午後五時十分本溪湖より安東に到着、翌五日は電業公司の發電所その他を見學の後平壤に向ふ豫定である

無名の一女性から別れのうた!

ゆかしい菱刈さんの德被

その殘した足跡も偉大ではあるが、聊かも粧はれざる明朗さを在滿各層の等しく皆衷心から仰ぎ親しんで居た菱刈さん。もんぺ姿に鈍豆を愛した將軍の功成り名遂げての歸國が誰の胸にも一樣にそこはかとなき淋しさを投げかけたことは事實である將軍が思出の滿洲を去る日これを驛頭に見送つた無名の一女性が、將軍に對して秘かに贈つた左記の如き情別の歌を本紙に寄せて來たが、菱刈さんの餘德が市井の一女性の上に迄及んで居たことの明らかな證左とも見るべく、今更ながらその德の力のおほいさを思ふのである。

粗末ながら別紙一首思ひ浮べました、不敬に亙らない限りよろしきやうお取計らひ下さいませ

新京日本橋通り　一女生

みことのり仰ぎ畏こみ今日ここに勳殘してかへりますかも

×　×　×

北黒線試乘記

(其の一)

拓け滿洲鐵路は千里 今年や黒河へ是が非でも

北安鎭黒河を繋なく鐵路三〇三、四五キロ北黒線は北辰、辰黒二線に分れ、前者は昭和八年四月着工本年十一月末完成滿洲國に引渡しを了し、本營業を開始して居り、後者は本年四月着工十一月廿六日鐵路敷設を完了、目下引續き殘りの工事を實施中であるが、北黒全線は八工區に分け、東亞、福昌、荒井、間、榊谷、大倉各請負業者の手により實施されたもので、土工數量、切盛合計三四〇萬立方米橋梁全長二キロで、路盤工事は黒河側よりは鐵道聯隊、北安側よりは滿鐵軌道班により軌道布設を實施したもので、使用總延人員は五八六萬人である沿線地方は寒氣甚しく、冬季は零下四十度に達し地下凍結三米に及び、今季は特に解氷期に於る水害、豪雨のため工事阻害されたが、これにも増して建設の苦痛を一層激烈ならしめたものは匪賊の横行、あぶ、まむし、ぶと等の襲來辰清を中心として痘咀病の猖獗あり、該線の工事は他線に見る能はざる困難を有したにも拘らず、一年有半の短日月を以て全通の運びに至り、十二月十五日黒河に於て盛大なる竣工式を擧行し得た事は實に鐵道建設史上特記すべき事實である

今日の測量ちや野營をするが今度來る時や展望車

十二月十三日午前八時廿分、八田滿鐵副總裁、山西理事、丁交通部大臣、大村關東軍交通監督部々長、佐藤鐵道建設局長、石村ハルビン建設事務所長等を乘せた豪華處女列車は、展望車をひいて北黒線南端驛北安驛をスタート、北安辰清間は平均時速三十キロ、辰清黒河間平均時速十キロを以て二日がゝりで黒河に到着茲に北黒線全通を見た譯である

□

北安を出て草原、小丘陵地に濕地を以て彩られた地帶を過ぐれば、所謂小興安嶺の山中に入り、白樺、黒樺に覆はれた陸の波に入り、其間溪流澄む美景をながめる、やがて愛琿平原に出れば、黒龍江を遠望し、遙かに、ソ聯領西比利亞平原を望見、黒河に至る北黒線三百余キロの沿線概況をのべるに當り、茲に便宜上北安鎭を起點とし列車に乘つたつもりで北行黒河に至る景物を點綴して見やう

□

△北安　北安はハルビンから鐵路三三二、三キロ、賓北齊北兩線の開通、今又北黒線の開通により急激なる發展をなした都市で、市內道路區劃は整然たるものであるが、未だ悪路にして解氷期になれば空馬車も泥濘にぬかり、徒歩者も膝を沒するといふ有樣家屋は平屋で何れも低く、新開地だといふ感を深くする、僅かに各公私機關の建物のみくつきりとそびえるのみ、氣候は冬季は最低零下卅八度まで下るが、平均廿二度である、戸口數は滿人七百廿戸、男一千九百四十二、女は七百七十六名、日本人は八百九十戸男一千八十三、女六百九名、其他六戸男十名、女八名で、主要機關としては龍鎭縣公署日本軍○團司令部、領事分館、憲兵分隊、電報局、日本小學校、滿人小學校等があり、日本人旅館八、料理屋カフエー等十數軒、ネオンの光も街のところどころに輝き、電燈、電話もあり、電燈は需要增加により更に發電器增設を見る可く、電話も百數十名の加入者を有してゐる、けだし新開都市としての風貌を遺憾なく示してゐる、北安より北行愈よ北黒線に歩を踏入れゝば、二井、二龍山、訥謨爾を經て龍鎭に達する、沿線には僅か乍ら耕地を見るを得るが、他は一面の草原にして、黒く濕地が斑點となつて見え、一望千里ゆるやかなスロープと平原の連續で所々に疎林が散るといふ情景である

△訥謨爾　北安より四四、四八キロの地點にある

	戸數	男	女	男女計
滿人	一〇	三〇	八五	一一五
日人	七	五〇	五	五五
其他		八	二	一〇

主要機關としては商務會、警察分署、稅捐局分所等があるが、住民の性質は一般に穩和である

△龍鎭　北安より六一、六籽部落は驛東南方約二籽の地點にあり戸口數は

	戸數	男	女	計
滿人	三九一	一、七〇四	八一三	二、五一七
日人	七七	一五一	四二	一九三

で右の內常住者は滿人約四割日人一割で他は鐵道工事關係者である、主要機關としては日本守備隊、警察隊、電報局、稅捐局、農商務會、滿人小學校等あり　現在旅館、料理屋カフエー等も二、三軒を數へることが出來るが之は鐵道工事關係者目當てのものと見られる、又驛西北方約二百米の高地に目下龍鎭神社を建立中で來年には竣工の筈であると

龍鎭を出れば南頭、龍門、禮井等の驛を通過して北辰線終端驛たる辰清(二站)に達するが龍鎭を出ると最早今まで僅かにその存在を明かにしてゐた既耕地も影を沒し、雜草と殘雪に覆はれた草原で唯僅かに草の生えてゐるところ丈けを殘して黒く凍結した濕地が見える位である　遙か遠くにかすんで見えてゐた丘陵、白樺の疎林も鐵路に迫つて來て手にとる程間近に在る、晝間と雖も光弱き陽光を拜するとき北滿の奧地に足を踏入れた感新たなるものがある、人煙稀な奧地に人影ありと見れば建設にいそしむ同胞か馬背に身を托して十里の途も遠しとせず、部落より部落に通ふ農民である、キジのつがひが羽ばたき、山七面鳥が飛立つノロが馳けるのも見る事が出來る

歳末同情週間

集まつた同情金が二千三百七十七圓

貧しい人々に暖い救ひの手

新京地方事務所滿洲社會事業協會共同主催の歳末同情週間はさる十四日から二十日まで實施されたが市民各方面の多大な同情のもとに溫き淨財は締切後まで續々と屆けられ係員は整理に大童になつてゐるが二十日締切の分は二千三百七十七圓八十錢と外に白米四俵三升に達し、一方分配委員では早速內鮮滿貧困者に分配につき協議の結果左の通り分配することに決定した

分取額

▼日本人　三世帶　一〇六名　一人當り三、〇〇　三一八、〇〇

內譯

三笠區	一世帶	七人	二一、〇〇
祝區	三同	一〇人	三〇、〇〇
入船區	二同	一〇人	三〇、〇〇
西廣場區	二同	八人	二四、〇〇
鐵北區	一同	五人	一五、〇〇
居留民會	三三同	六六人	一九八、〇〇

▲朝鮮人　一二五世帶　五九四人　一人當り一、〇〇　五九四、〇〇

內譯

普通學校	六六世帶	三八四人	三八四、〇〇
城內	三二同	五五人	五五、〇〇
附屬地	二七同	一五五人	一五五、〇〇

受入金內譯

滿洲國社會事業協會	二〇〇、〇〇
朝鮮人民會	一〇〇、〇〇
新京頭道溝商務會	二〇〇、〇〇
日滿民衆自治會	五〇、〇〇
新京警察署人事相談部	一〇〇、〇〇
勞働保護會	五〇、〇〇
滿鐵簡易宿泊所(外に白米四俵三升)	五〇、〇〇
濟生會保管	六二五、八〇

總計金二千三百七十七圓八十錢也

外に白米四俵三升

尚締切後寄附金は濟生會に受入のことになつた

因に本年度寄附金額を昨年度の一千四百三十一圓五十錢に比較すると約倍加になつてゐる

凱旋の兩將軍が廿九日夜星乃家から

離滿挨拶の中繼放送

(大連國通)菱刈、岡村兩凱旋將軍の離滿挨拶放送は電々會社から兩將軍に交渉中の處大体二十九日午后六時半より放送する事に內諾を得た、多分星乃家から中繼放送される事とならう

最初の職業野球團

選手役員決定

大日本東京俱樂部と命名

【東京國通】日本最初の職業野球團大日本東京野球俱樂部は創立總會を工業俱樂部に於て二十六日午後擧行、資本金五十萬圓で筆頭取締は大隈信常侯、顧問としては米國野球團のオドール君が就任した、選手は左の通りである

△投手　澤村(京都商業)青柴(立命館)スタルヒン(旭川中學)水原(慶應出)水原(慶應出)畑福(專修)

△捕手　久慈(早大)倉(法政)

△一壘手　長澤(大洋俱樂部)

△二壘手　三原(早大出)

△三壘手　新富(門鐵)津田(奉天滿俱)

△內野手　江口(共榮商業)

△遊擊手　苅田(法政出)

△外野手　矢島(早大出)堀尾(ロスアンゼルス)二出川(明治出)中島(早大出)山本(元寶塚)夫馬(早大出)

明春から半歳

米國本土に遠征

【東京國通】日本野球界に一新紀元を劃する職業野球團の創設に邁進して來た株式會社大日本東京野球俱樂部では各方面との交渉漸く成立、之が誕生を正式發表するに至つた同野球團が既に集め得た選手は過般の日米野球戰に出場した選手十九名で、尚之に優秀投手三、四名を加へ明春二月十四日頃日本を出發、米國本土に向ひ三月早々からロサンゼルスを中心に同地で春の練習を行ふ、シカゴカッブス、ピッツバーグ、パイレーツの三大チームをはじめロサンゼルスのエンゼルス、ハリウッド兩チーム、サンフランシスコのシールス其他等と約廿四回試合を行ひ、更に北上し四月末から五月初旬にかけてシャトルポートランド、タコマ等諸チームと六回の夜間試合、バンクーバーパレーリーグと十四回更に南下してシカゴに至り同地及びデトロイト等の大リーグチームと對戰するなど總計七十四回を突破する試合を行つて歸朝の途につき、場合によつては歸途ハワイで開く八回の試合を終へ七月初旬に歸京する豫定である

ラヂオ番組

二十八日(金曜)新京

(午前の部)

六、五〇　ラヂオ體操(東京より)
七、一〇　ラヂオ體操(滿語)
八、三〇　經濟市況(東京より)
八、四五　天氣實況(奉天より)(日滿語)
九、三〇　演藝(レコード)(滿語)
一〇、〇〇　料理獻立(日語)(奉天より)
一〇、四〇　經濟市況(東京より)
一〇、五九　時報(東京より)
一一、〇一　經濟市況(東京より)
一一、三〇　ニュース(滿語)經濟市況(大連より)
一一、四〇　ニュース(東京より)
〇、〇〇　經濟市況(大連より)

(午後の部)

經濟市況(日語)
〇、一五　ニュース(日語)
一、〇〇　演藝(滿語)打漁殺家 艶春院 金子
二、〇〇　經濟市況(大連より)
二、二〇　成人講座(滿語)文教部編審官 闞文琪 孔孟學說和王道國家的印證
二、四〇　日用品値段(日滿語)
二、五〇　經濟市況
三、二〇　ニュース(東京より)ニュース(日語)
三、三〇　經濟市況(大連より)
三、五〇　經濟市況(日語)
四、〇〇　ニュース(鮮語)
四、一〇　ニュース(滿語)
四、二〇　滿語講座 講師 高宮紱逸
四、四〇　日語講座 講師 近藤喜助(奉天より)
五、〇〇　子供の時間(ハルビンより)
五、三〇　番組豫告 氣象通報(日語)
五、三五　番組豫告 氣象通報(滿語)

夫人の遺骨を抱いて

二口訓導歸國

室町尋常高等小學校訓導二口宗太郎氏は十月十九日病歿した夫人セン子さんの納骨のため二十七日午後四時發列車で路訓導に見送られ淋しく愛妻の遺骨を抱へ郷里石川縣へ歸省したなほ同氏は來月六日歸京の豫定

吉凶禍福

▲工藤龍吉氏(羽衣町一丁目二十番地滿電社宅十五號)長女公子さん二十三日出生

謹告

最近弊社員と稱して廿七八才位の者廣告勸誘に市內を徘徊する由なるも弊社には右年齡の者無之候間此段爲念謹告仕候

昭和九年十二月廿七日

新京日日新聞社

女人婆羅門（四十四）

長田秀雄 作
（禁上演映畫化）
正 健 志 畫

恩讐の彼岸（五）

「こりや何の本だらう、見慣れない本だのう」

部屋の隅に轉がつた小さな折本を取り上げて、不審さうに、矢坂が呟いた。

「聖庵先生――何の本だ」

――酒毒の爲めに、朝晩兩眼が充血してゐて、矢坂は、小さな文字となると讀取ることが出來ない。

「どれ／＼！」

と、腹這つた儘、聖庵が受取つて、いゝ、とみこうみしながら、

「あ、これは觀音經だ」

「何？　觀音經――お經の本か」

「普門品と書いてあるし、中味も觀音經の文句だ。しかし、誰が一體、こんなものを持つて來たんだらう？」

「大方、高崎丹後さ、あいつも浪人者で、武藝前にや、無辜の人間を斬り殺したり、辻斬をしたので後生冥加が恐ろしくなつて、大方そんな本を買つて來たんだらう」

「殊勝な奴だの」

聖庵は、觀音經をぽんと抛つた。

「聖庵――序に、一寸、讀んでくれぬか」

「何を――この觀音經をか」

「うむ」

「陰氣な事だ」

そのまゝ經本を取らうともせず ごろりと、横になつた。

「讀まぬなら、酒でも、飲もう。酒を云つてくれ」

「また、酒か」

聖庵は呆れた顔附をした。

矢坂は、何かしらそわ／＼してゐた。

「お藤々々」

奥の間で、矢坂の襦附袴を縫つてゐたお藤は、手を止めて、

「はい」

と、立上つた。その儘を、ぐつと、四郎がつかまへて、そつ耳許に囁いた。

「高崎と松公は、先刻出掛けて行つたぜ、打合せた事はいゝか」

きつと、とゝろもち、お藤の顔に蒼味が走つた。

「分つてるよ」

「抜かるな！」

傍をも見ずに、お藤は、矢坂の前に出てきた。

晝酒は、珍らしい事ではなかつたし、下物には、昨日、乾兒が、山鳩を取つて來たのがあつたし、お藤は、まめ／＼しく支度を急いだ。

燗がついて來ると、矢坂は、聖庵に猪口を差して、

「貴様も飲め！」

「俺は、あまり氣持が進まないが……折角だからちやホンの一つ」

酌をするお藤に、矢坂が、

「お藤、弟はどうした？」

「奥で、寝んで居ります」

「仕樣のねえ野郎だ――あいつ、寝てばかりゐる――痩牛みたいな野郎だ。此處へ連れて來い。元氣をつけてやる」

「四郎さアん」

お藤は、四郎を呼び立てゝ、

「聖庵さん、どうしたの、うんとお飲みなさいよ」

「俺は、下戸だ――直ぐ醉つちまふんでな……」

「まあ、も少し」

そこへ、漸と四郎が、のそつと出て來て、

「これは御馳走！」

と、笑つて云つた。

「貴樣も飲め」

「頂きます。頂きますとも」

ワザとはしやいだ調子で、

「好い酒だ。こんな好い酒は久し振だ。久し振に灘の酒が飲めた」

「姐さいな、默つて呑め！」

矢坂は、笑ひながら、いゝ機嫌になつて猪口を傾けた。